資料⑨別紙

令和８年度全国学力・学習状況調査の結果の概要

黒部市教育委員会

１　調査目的

国による全国学力・学習状況調査の目的は以下の通りとされている。

○　義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

○　学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

○　そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　実施概況

○ 調査日時　　令和８年４月　１日（水）～17 日（金）（学校質問）
４月 21 日（火）・22 日（水）（英語：３技能、生徒質問）
４月 23 日（木）（国語、算数・数学）
４月 24 日（金）～５月１日（金）（児童質問）
５月 21 日（木）・25 日（月）（英語：話すこと）

○ 調査内容　（１）教科調査（国語、算数・数学、英語（中学校のみ））

・学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題
・授業改善に向けたメッセージを発信
・中学校英語はＣＢＴ調査　※CBT 調査については別紙参照
・中学校英語は公開問題と非公開問題を組み合わせて構成
・中学校英語の公開問題には調査対象の生徒全員が取り組む問題と一部の生徒が取り組む問題があるが、生徒一人が解く問題数は同じである。
・中学校英語の非公開問題は幅広い内容・難易度等の問題で、生徒ごとに異なる問題が出題されている。なお、結果も公表されていない。

（２）質問調査（児童生徒、学校）

①　児童生徒に対する調査（児童質問…73 問、生徒質問…80 問）
・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
・ＣＢＴ調査、ランダム方式　※ランダム方式については別紙参照

②　学校に対する調査（小学校質問…85 問、中学校質問…93 問）
・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

○実施学校数、実施児童生徒数

小学校６年生		中学校３年生	
実施学校数	実施児童数	実施学校数	実施生徒数
９校 在籍数（346 人）	328 人(国語) 328 人(算数) 328 人(児童質問)	２校 在籍数（315 人）	284 人(国語) 284 人(数学) 294 人(英語：３技能) 273 人(英語:話すこと) 294 人(生徒質問)

３　教科別平均正答率、平均 IRT スコア　※IRT スコアについては別紙参照

※児童生徒の正答率の平均を百分率で表示した数値、中３英語は IRT スコア集計値

	小学校６年生		中学校３年生			
	国語	算数	国語	数学	英語 （３技能）	英語 （４技能）
黒部市	61%	56%	62%	55%	495 以上 505 未満	495 以上 505 未満
富山県 (公立)	62%	56%	64%	59%	495 以上 505 未満	
全国 (公立)	60.9%	56.4%	63.9%	57.0%	499	499

４　成果と課題

	成果 （正答率が全国平均を上回っている項目）	課題 （正答率が全国平均を下回っている項目）
小学校国語	**「言葉の特徴や使い方に関する事項」** 文脈に即して、漢字を正しく書く。 **「書くこと」** 筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考える。	**「読むこと」** 目的に応じて必要な情報を見付ける。 文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめる。
小学校算数	**「数と計算」** 整数と小数の減法の計算を正しくする。 示された情報を基に数量の関係に着目して、条件に合う時間を求める。	**「図形」** 立方体の体積の計算による求め方について理解している。 **「変化と関係」** 単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、どちらが混んでいるか判断する。
小学校の傾向	**「知識及び技能」に関する内容は一定の定着がみられる。**	**「読むこと」やデータの正しい読み取りに課題がある。**
中学校国語	**「言葉の特徴や使い方に関する事項」** 文脈に即して、漢字を正しく書く。 文章の中で「とる（取る・捕る・撮る）」を正しく使う。	**「言葉の特徴や使い方に関する事項」** 「～られる」について、可能の意味を含んでいるものを選択する。 **「話すこと・聞くこと」** 文章中の発言について説明したものとして適切なものを選択する。
中学校数学	**「関数」** 反比例の表において、ｘの値に対応するｙの値を求める。 **「データの活用」** データの傾向を捉え説明する。	**「図形」** 角の大きさを文字式で書く。 **「データの活用」** ２つのさいころを投げる事象において、確率を求める。
中学校英語（４技能）	**「話すこと」** 身に付けた知識を実際のコミュニケーションで活用する。 自分の考えとその理由を話す。	**「読むこと」** 物語を読み概要を捉える。 **「書くこと」** 出来事を説明する英文を書く。
中学校の傾向	**多くの問題において、無解答率が全国を下回っている（その問題を回答しなかった生徒が少ない）。**	**「知識及び技能」に関する内容において、定着していないものがみられる。**

５　児童・生徒質問調査の全国との比較グラフ

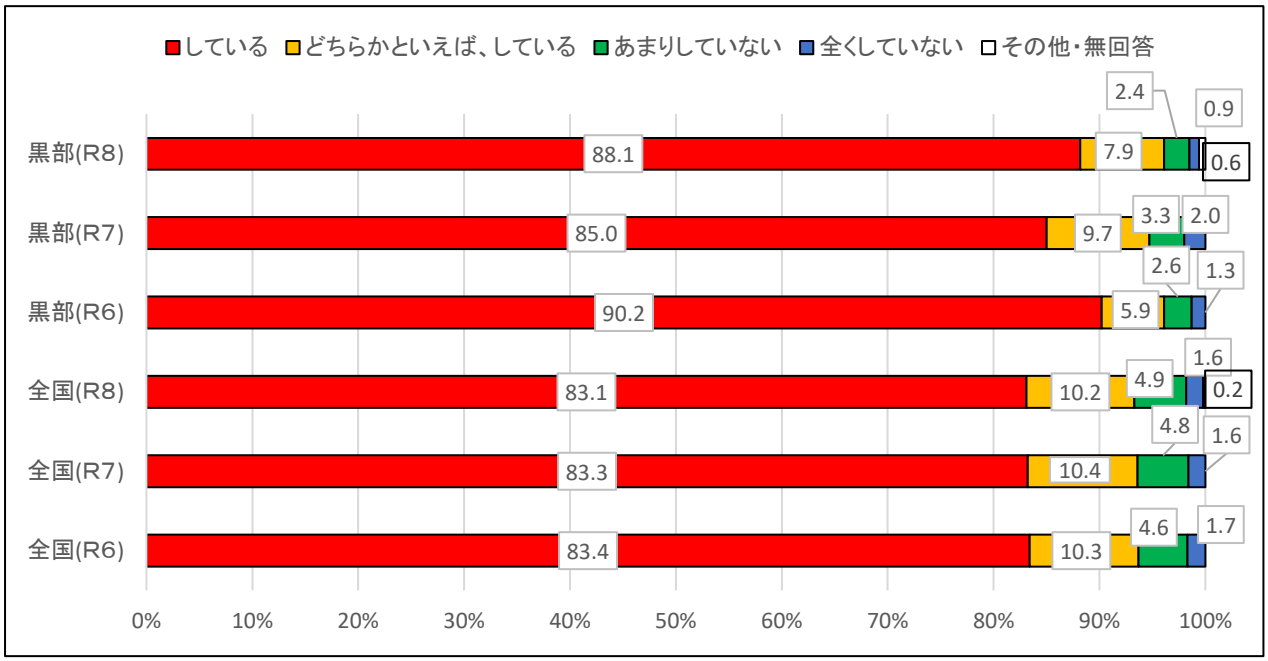
（１）生活の諸側面

①　生活習慣について

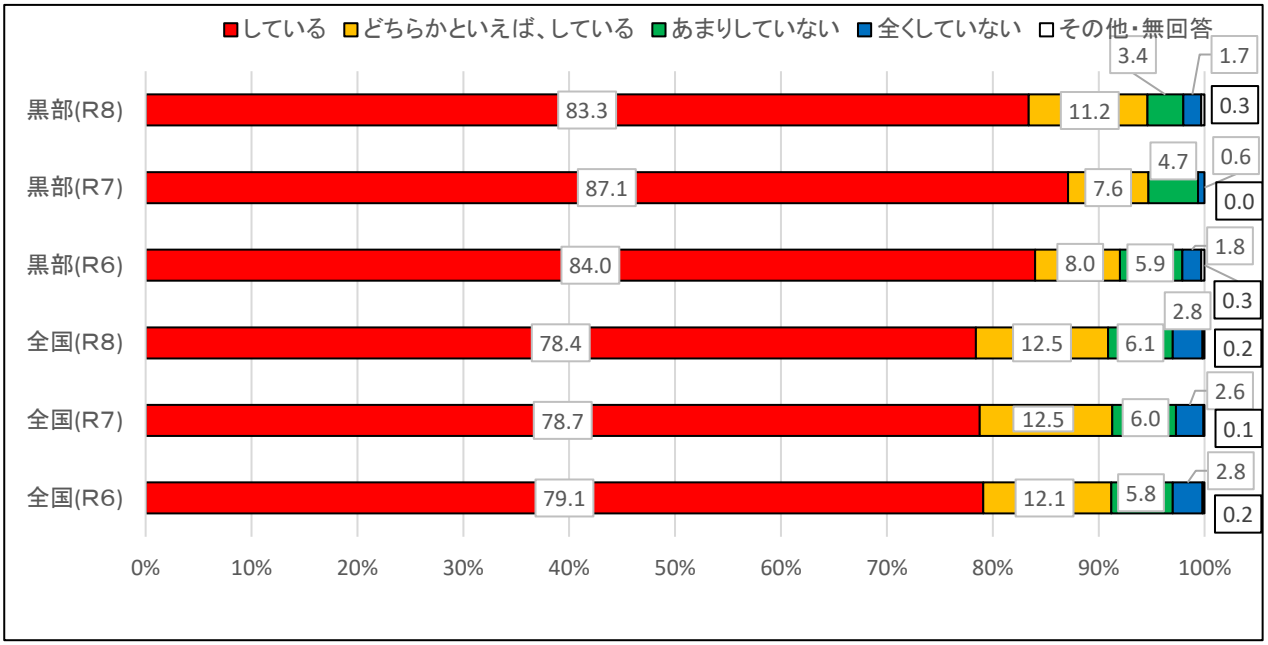
ア　朝食について

質問「朝食を毎日食べていますか」

【小学校】



【中学校】

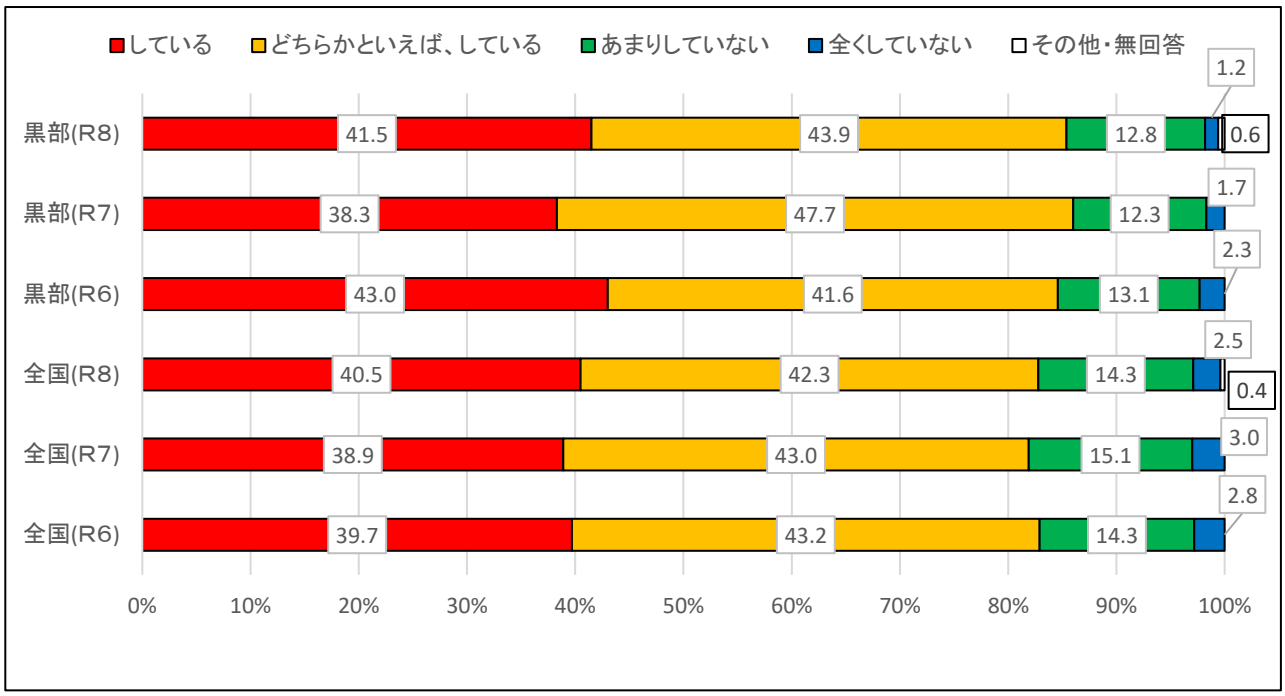


肯定的な回答をした小学生の割合は 96.0%（全国 93.3%）で、全国より 2.7 ポイント上回っている。
中学生の割合は 94.5%（全国 90.9%）で、全国より 3.6 ポイント上回っている。

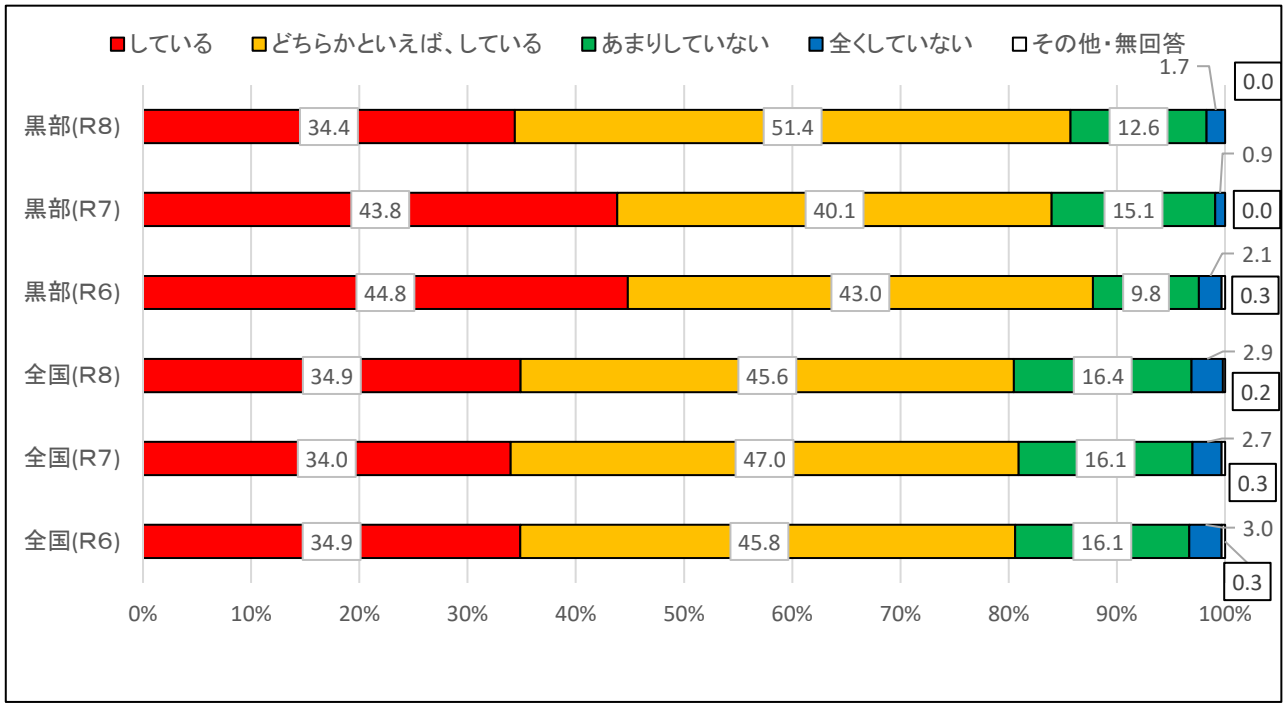
イ　就寝について

質問「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」

【小学校】



【中学校】



肯定的な回答をした小学生の割合は 85.4%（全国 82.8%）で、全国より 2.6 ポイント上回っている。

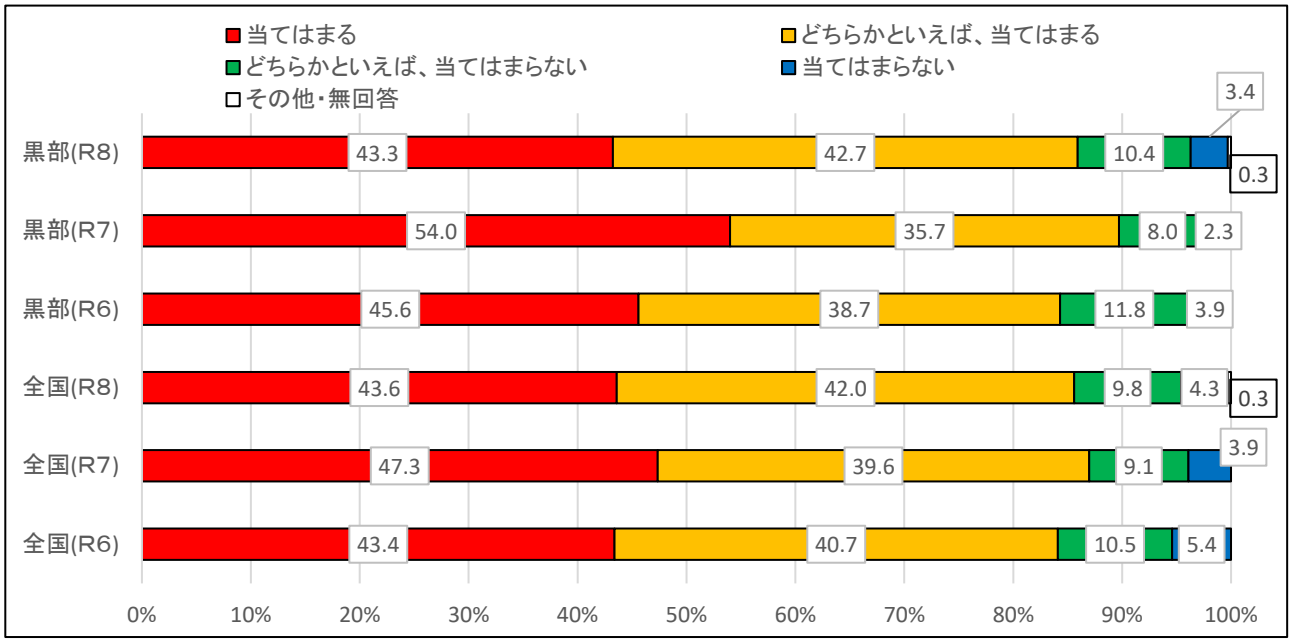
中学生の割合は 85.8%（全国 80.5%）で、全国より 5.3 ポイント上回っている。

② 自己有用感の醸成について

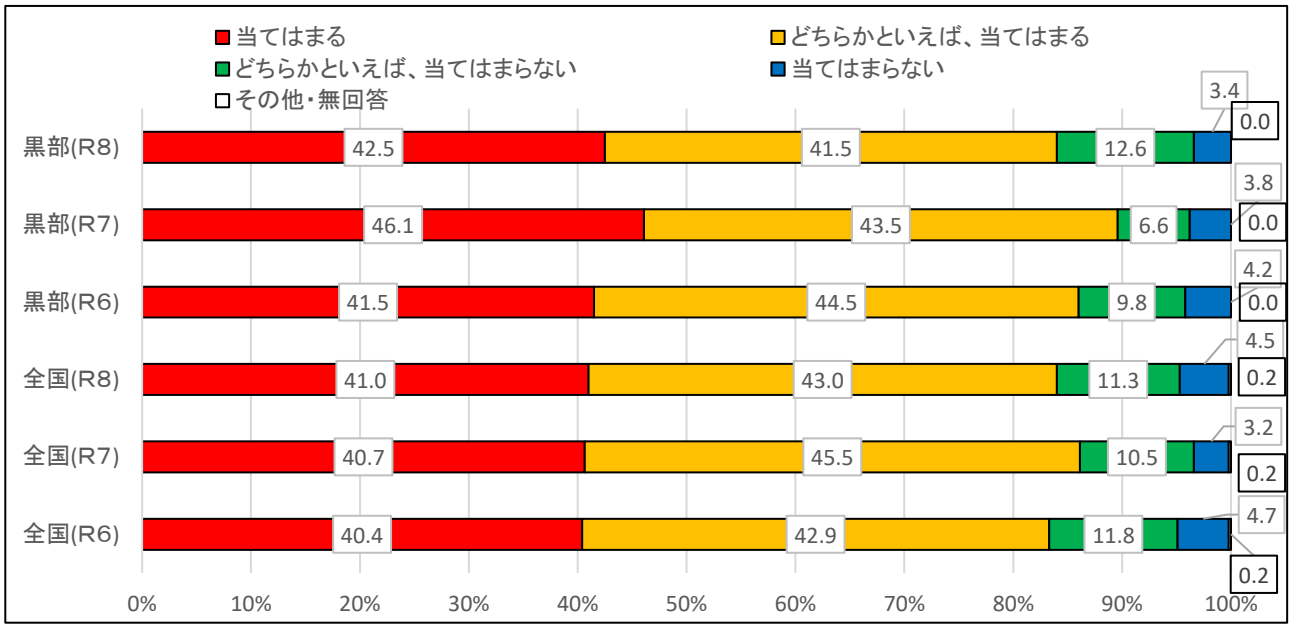
ア 自己肯定感

質問「自分には、よいところがあると思いますか」

【小学校】



【中学校】



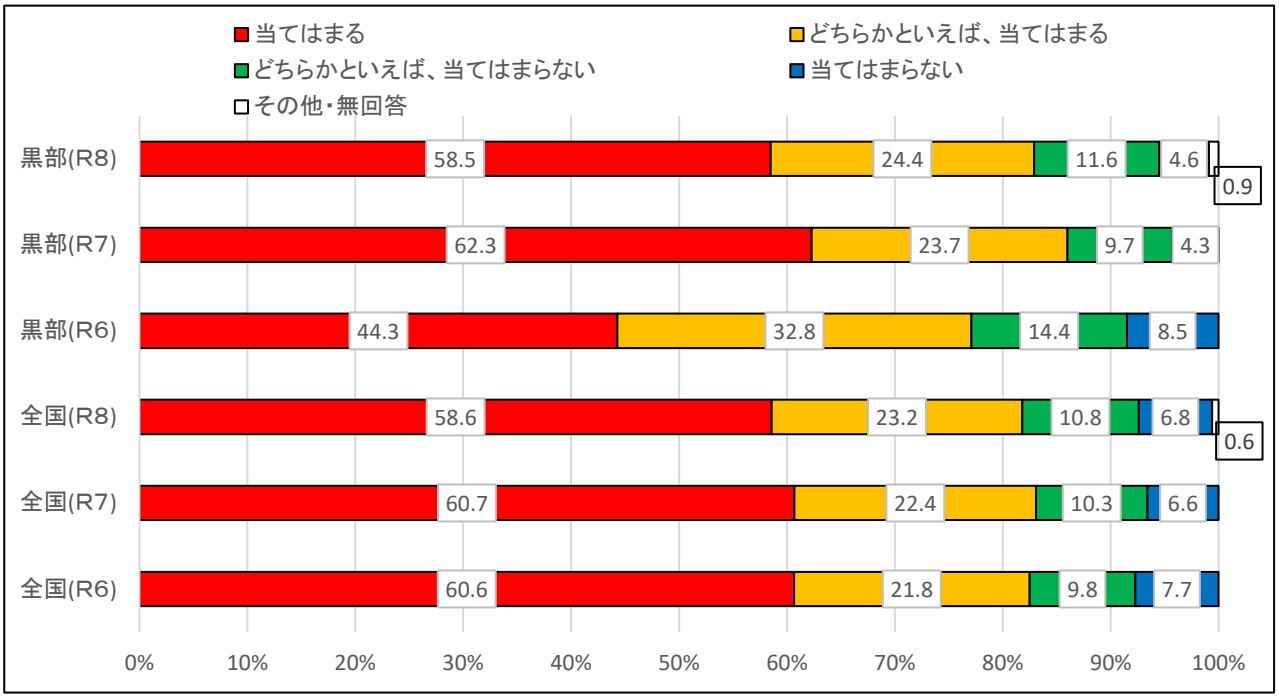
肯定的な回答をした小学生の割合は 86.0%（全国 85.6%）で、全国より 0.4 ポイント上回っている。

中学生の割合は 84.0%（全国 84.0%）で、全国と同等である。

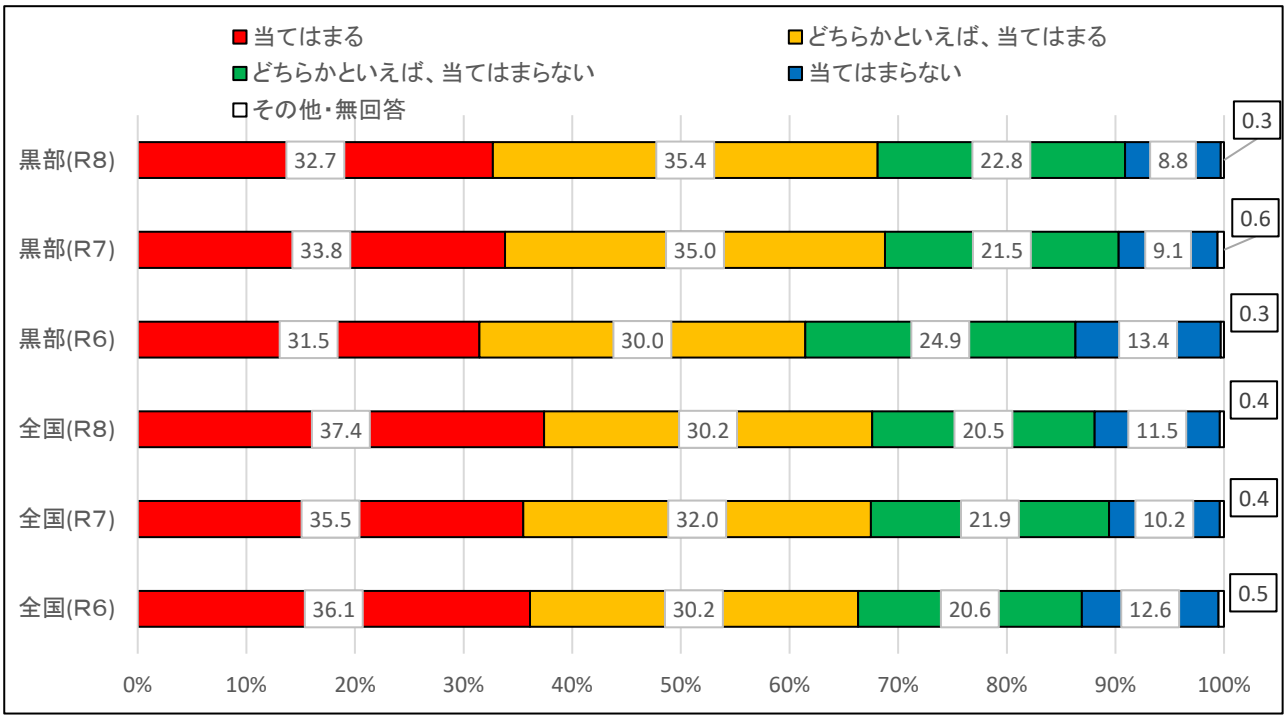
イ　将来の夢・目標について

質問「将来の夢や目標を持っていますか」

【小学校】



【中学校】



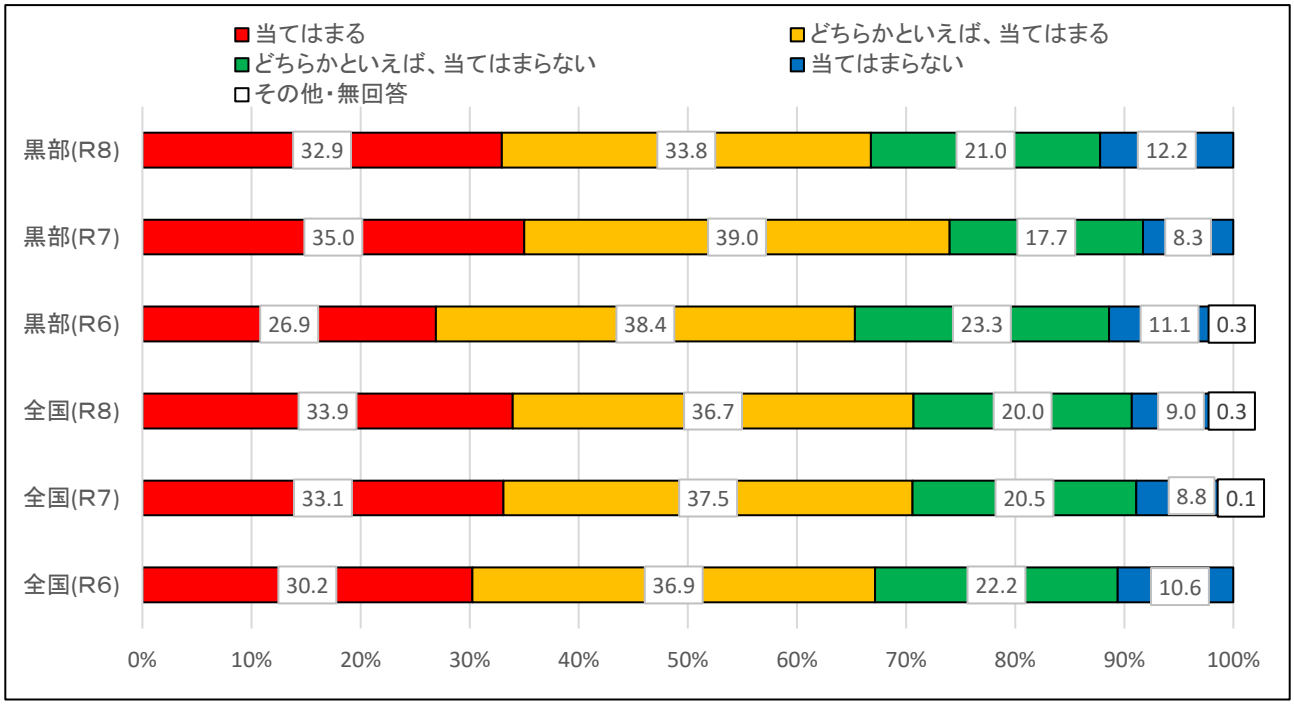
肯定的な回答をした小学生の割合は 82.9%（全国 81.8%）で、全国より 1.1 ポイント上回っている。

中学生の割合は 68.1%（全国 67.6%）で、全国より 0.5 ポイント上回っている。

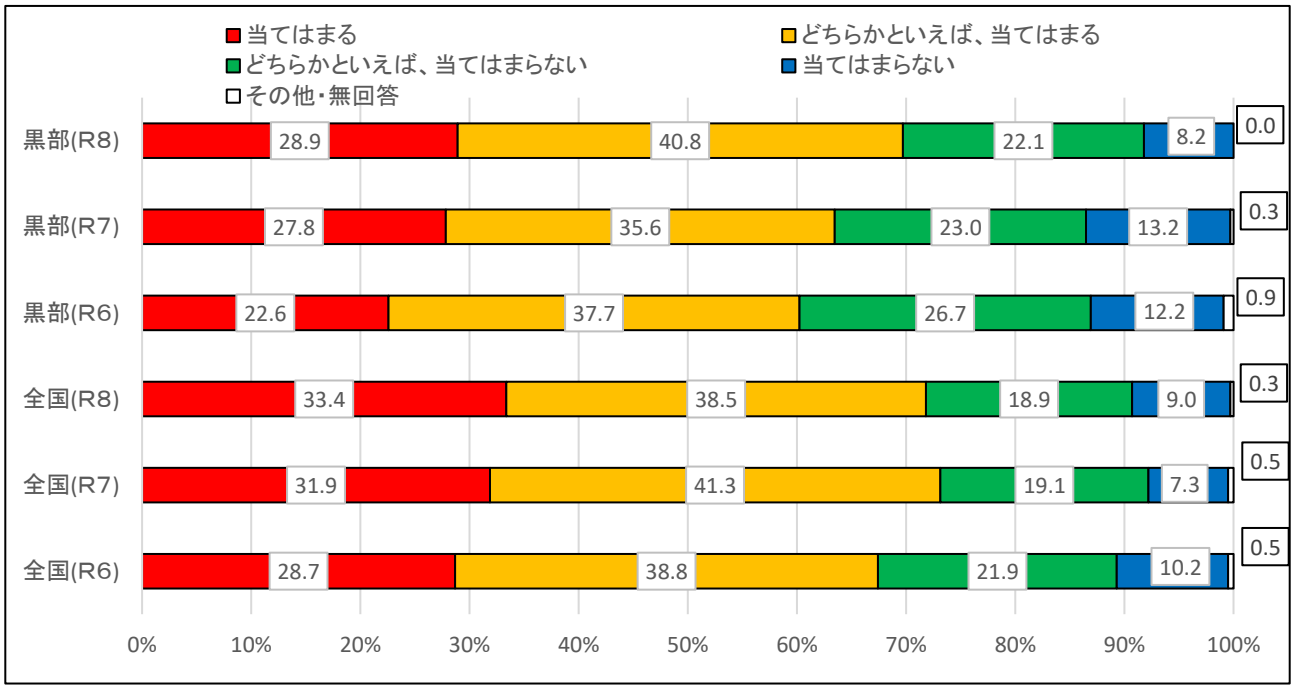
ウ　困りごとの相談について

質問「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」

【小学校】



【中学校】



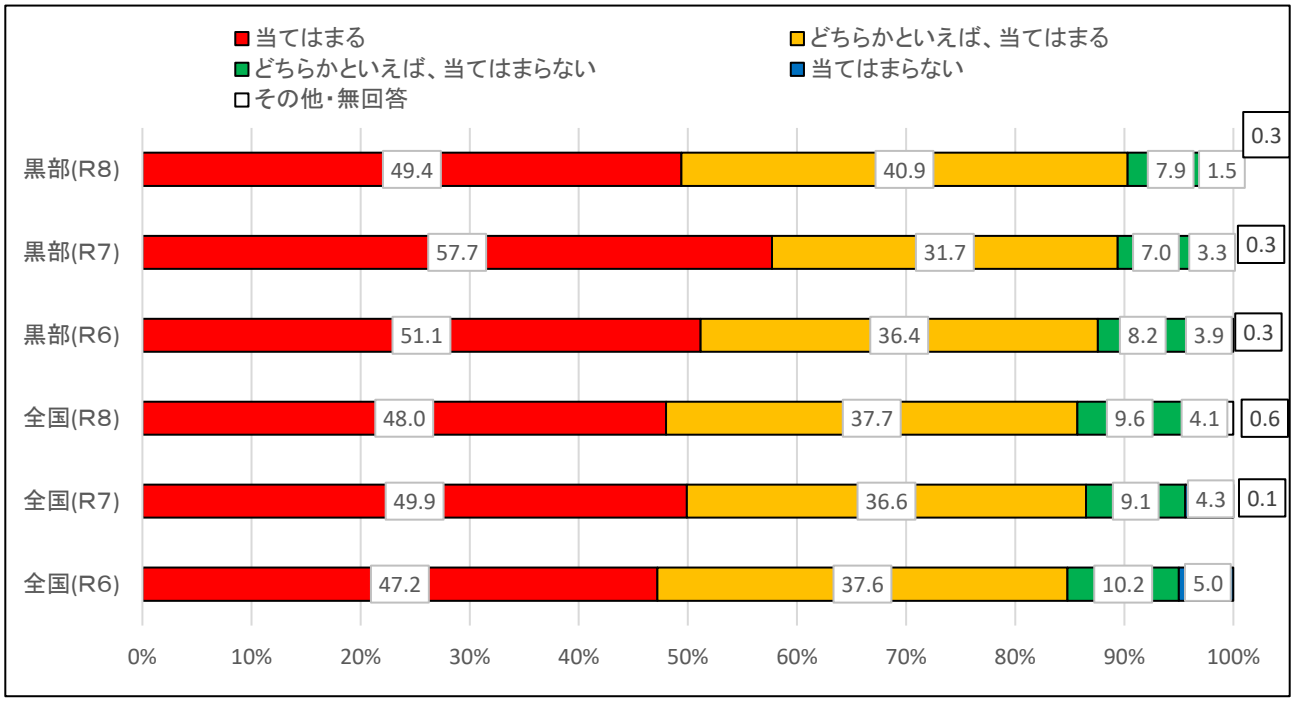
肯定的な回答をした小学生の割合は 66.7%（全国 70.6%）で、全国より 3.9 ポイント下回っている。

中学生の割合は 69.7%（全国 71.9%）で、全国より 2.2 ポイント下回っている。

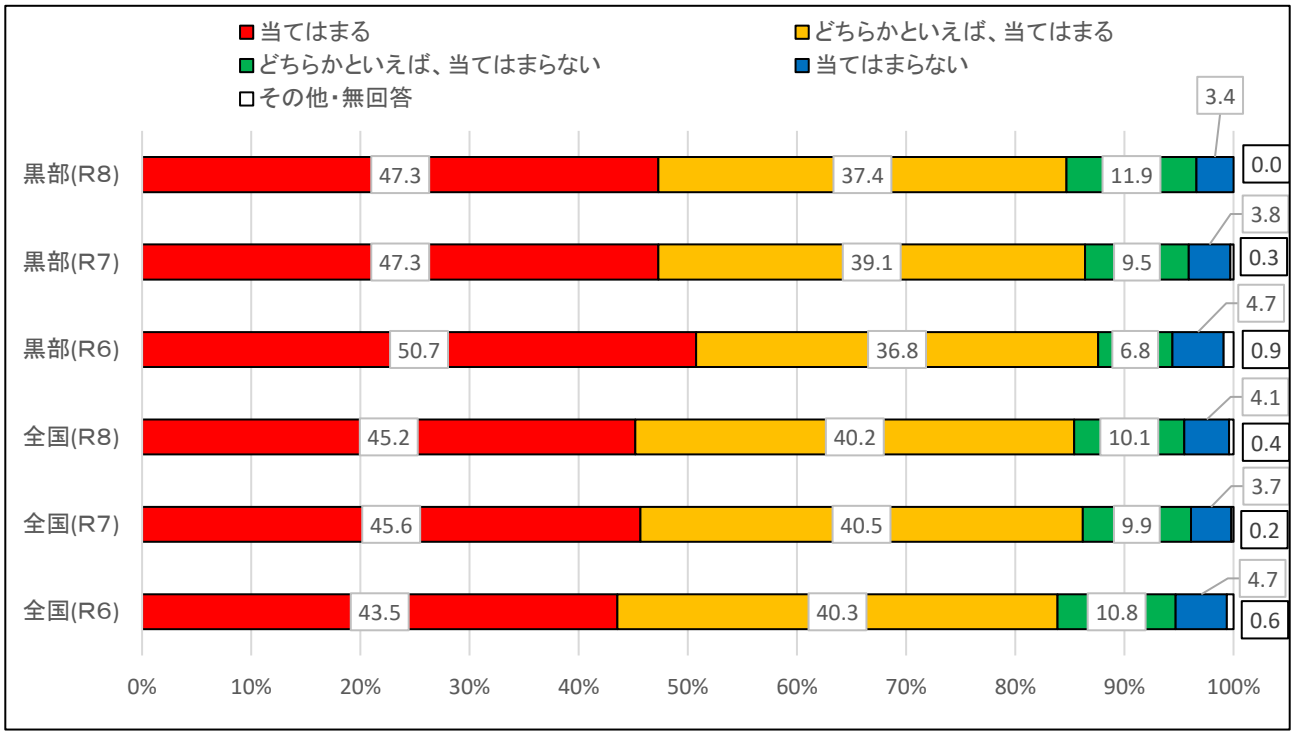
エ　学校への期待について

質問「学校に行くのは楽しいと思いますか」

【小学校】



【中学校】



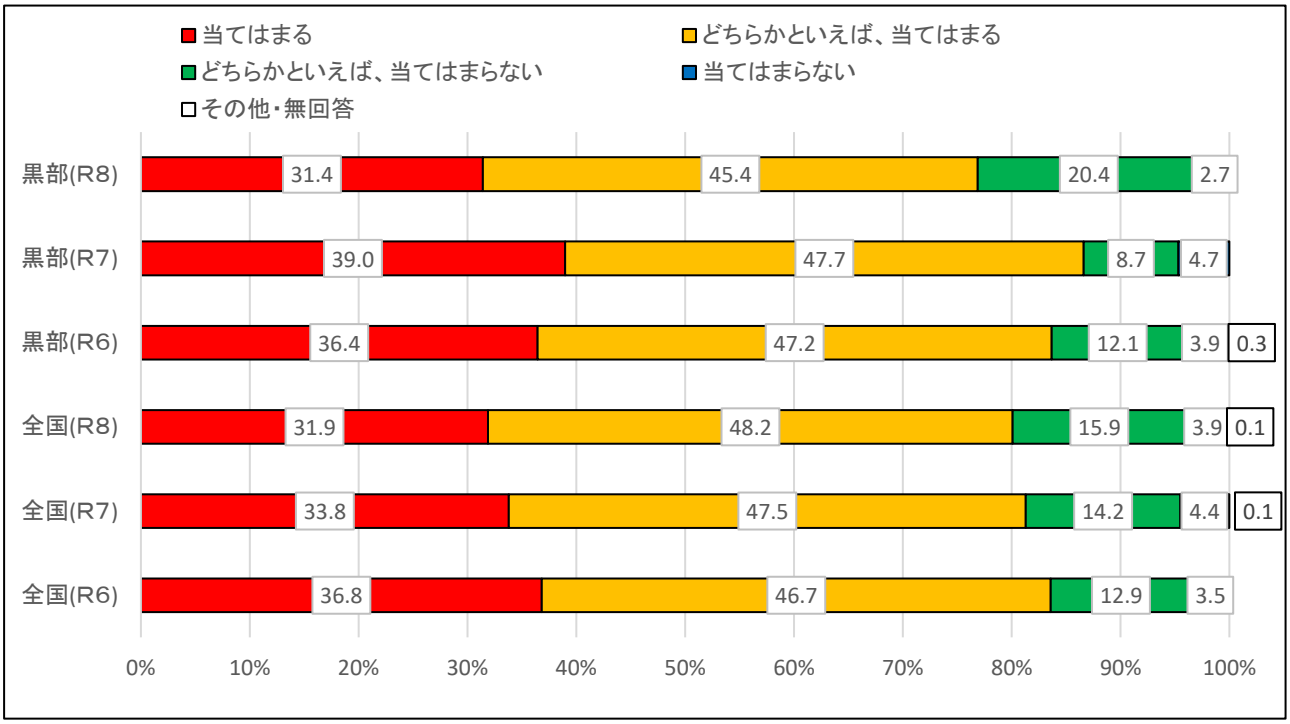
肯定的な回答をした小学生の割合は 90.3%（全国 85.7%）で、全国より 4.6 ポイント上回っている。

中学生の割合は 84.7%（全国 85.4%）で、全国より 0.7 ポイント下回っている。

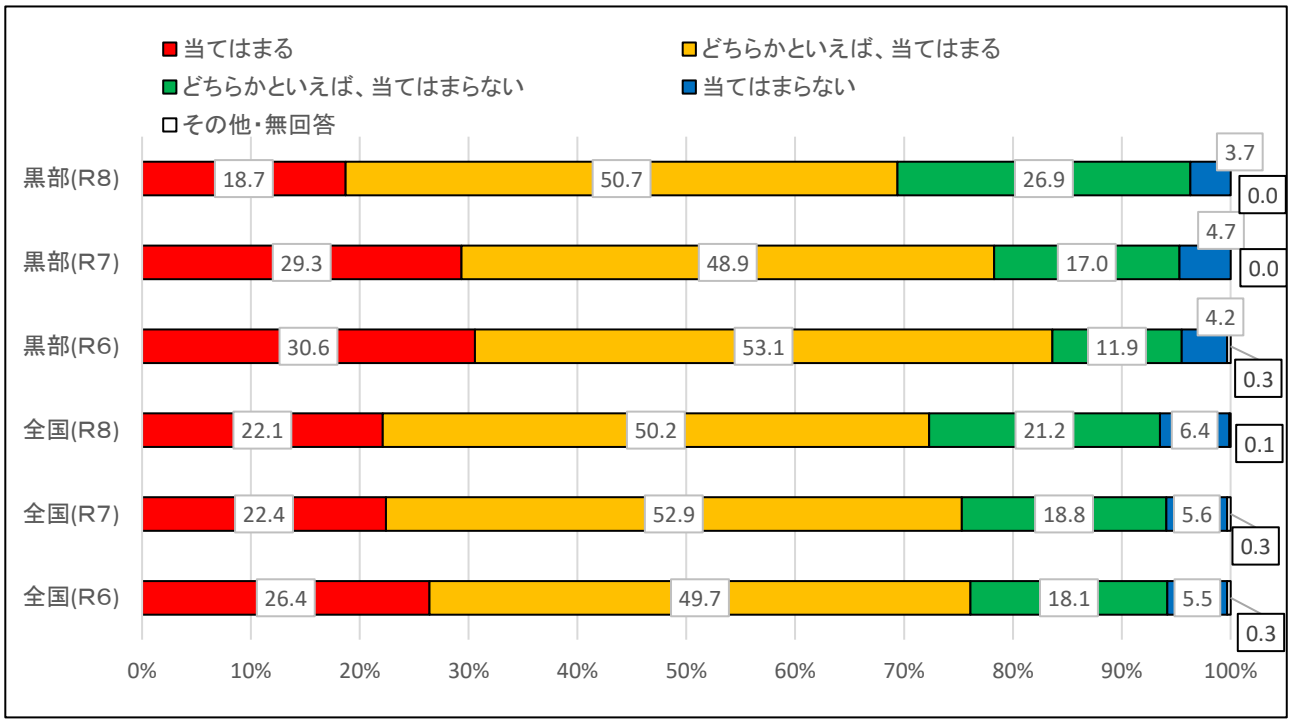
③　地域や社会との関わりについて

質問「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」

【小学校】



【中学校】



肯定的な回答をした小学生の割合は 76.8%（全国 80.1%）で、全国より 3.3 ポイント下回っている。

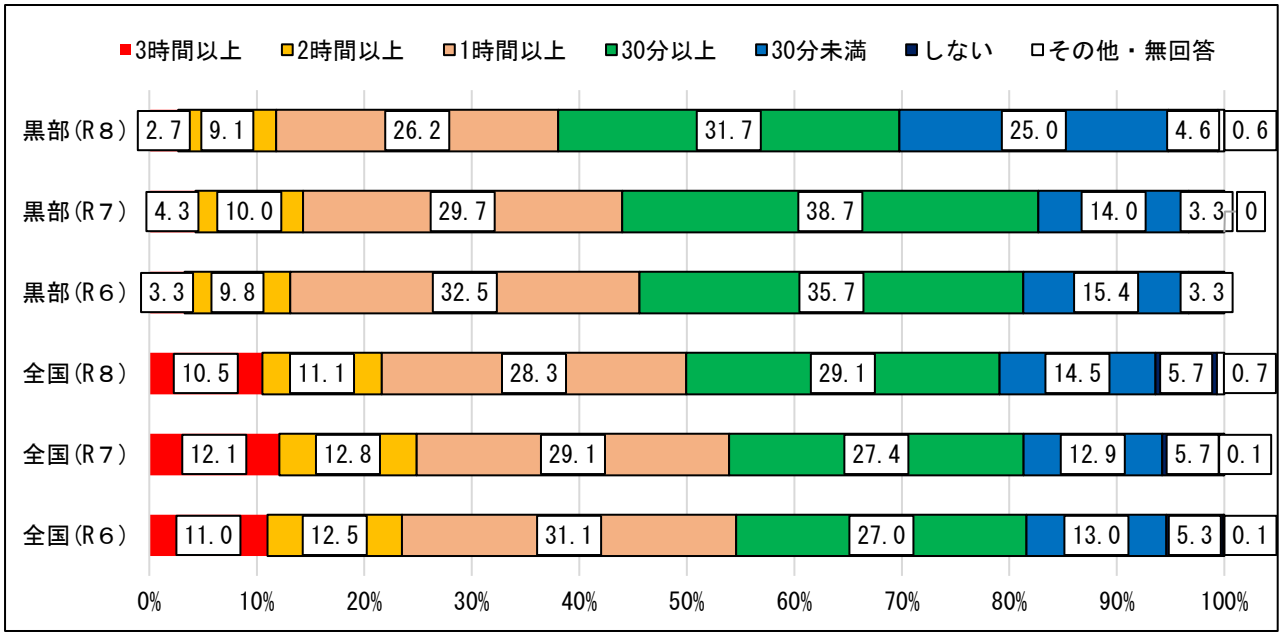
中学生の割合は 69.4%（全国 72.3%）で、全国より 2.9 ポイント下回っている。

④　学習習慣、学習環境について

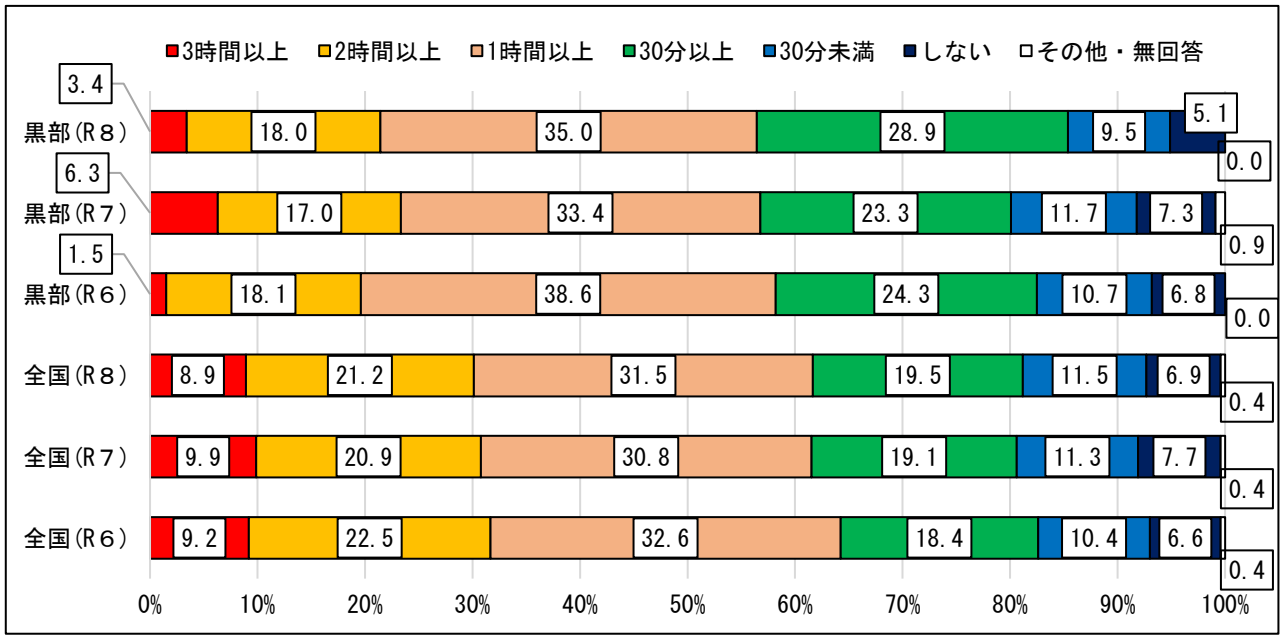
ア　家庭学習について

質問「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」

【小学校】



【中学校】



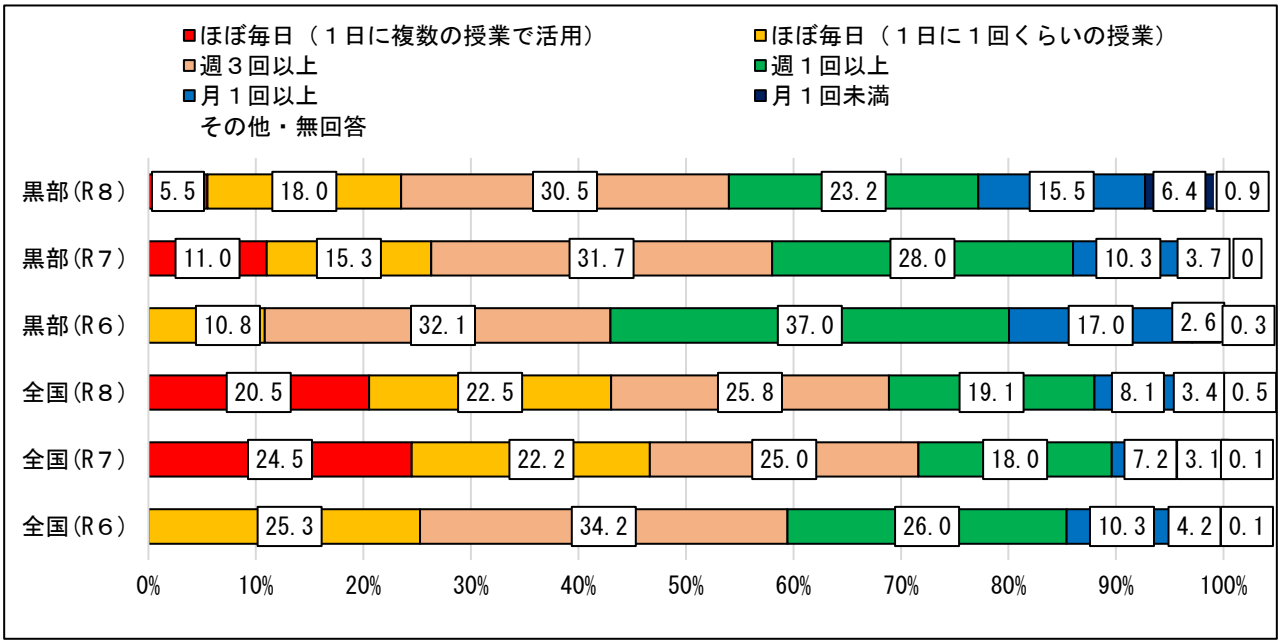
１時間以上勉強している小学生の割合は 38.0%（全国 49.9%）で、全国より 11.9 ポイント下回っている。

中学生の割合は 56.4%（全国 61.6%）で、5.2 ポイント下回っている。

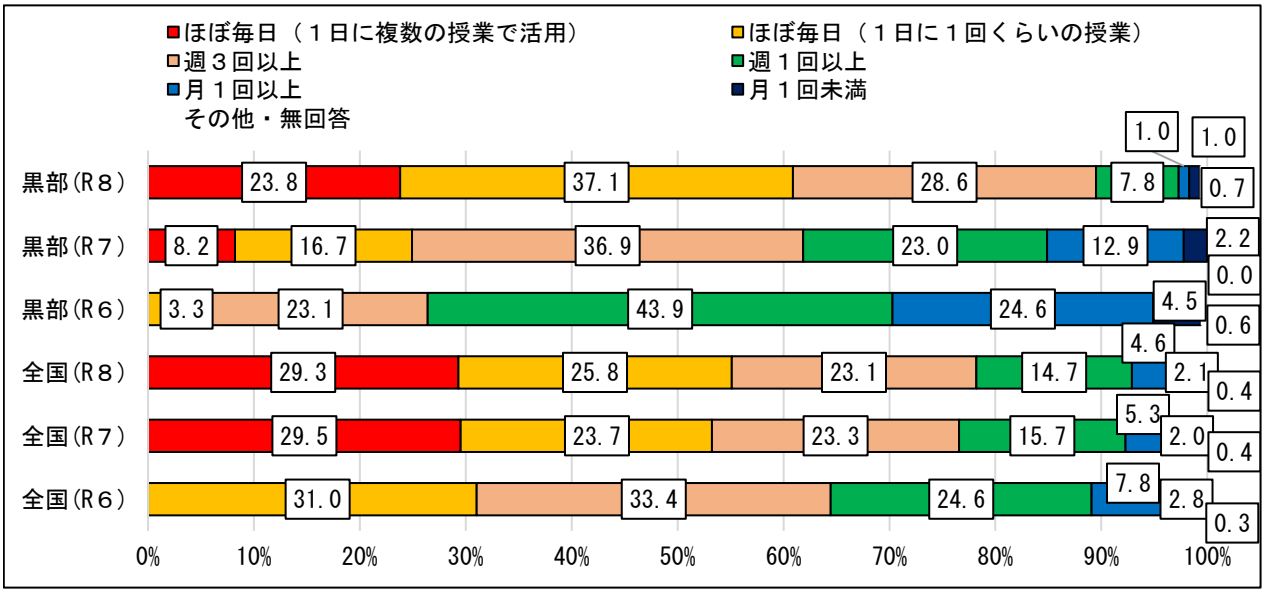
イ　授業におけるＩＣＴ機器の活用状況について

質問「５年生までに（１、２年生のとき）受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか」
※R6 は選択肢が「ほぼ毎日」だったものが、R7・R8 では「ほぼ毎日（１日に複数の授業で活用）」「ほぼ毎日（１日に１回くらいの授業）」と詳細に回答するようになっている。

【小学校】



【中学校】

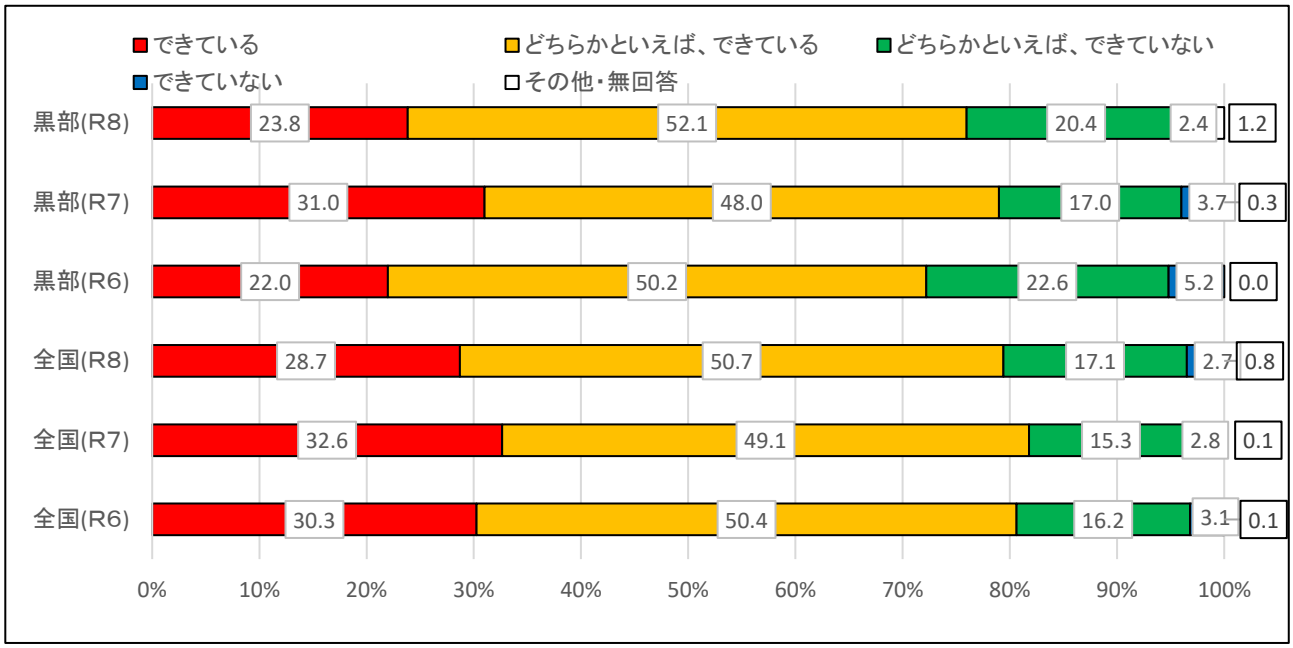


ほぼ毎日使用している小学生の割合は 23.5%（全国 43.0%）で、全国より 19.5 ポイント下回っている。
中学生の割合は 60.9%（全国 55.1%）で、全国より 5.8 ポイント上回っている。

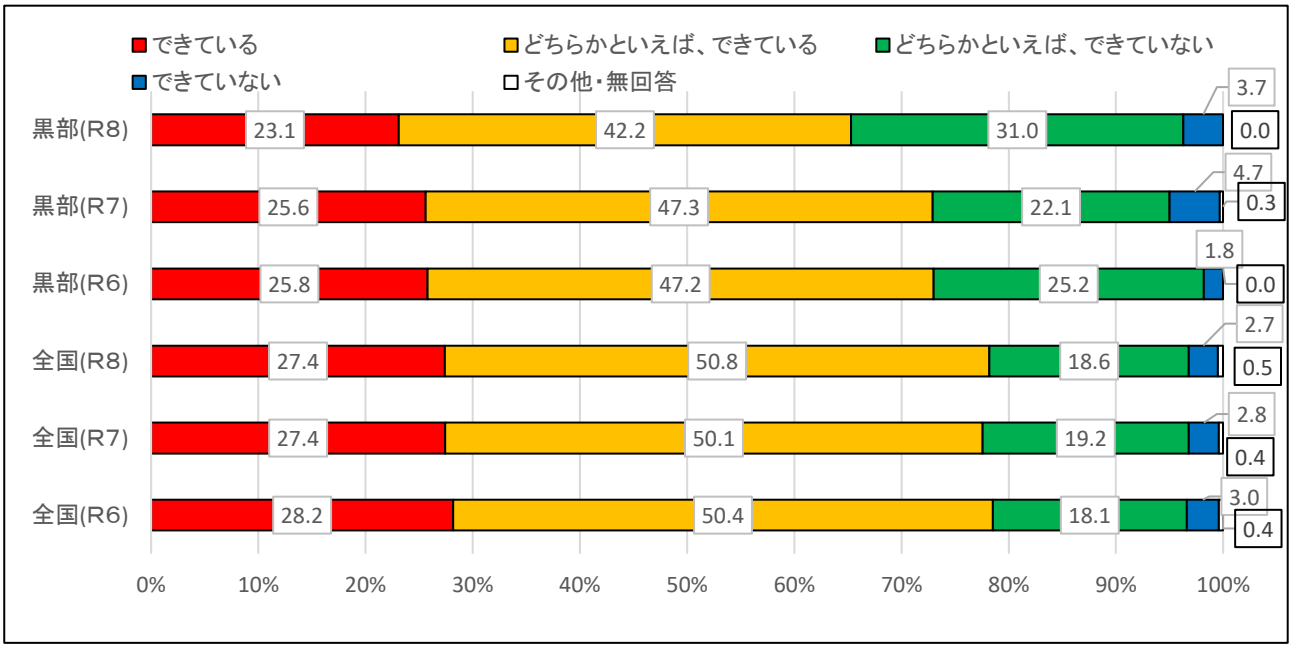
ウ　主体的に学習に取り組む態度について

質問「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできいていますか」

【小学校】



【中学校】



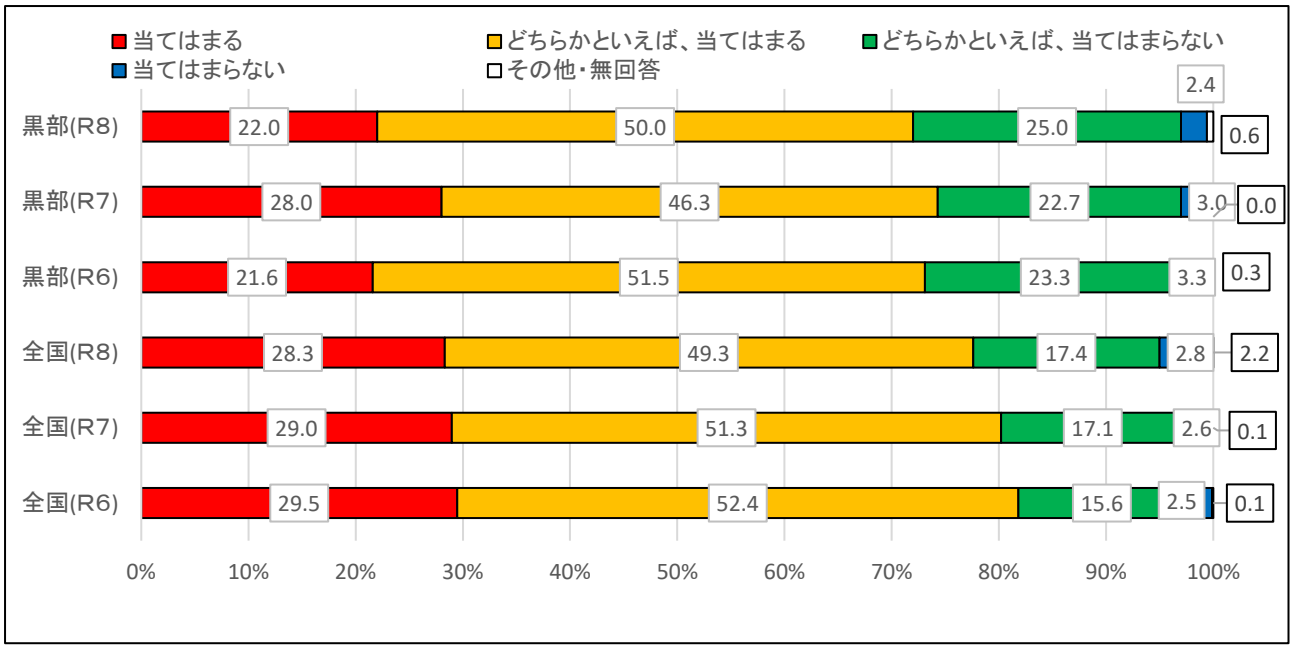
肯定的な回答をした小学生の割合は 75.9%（全国 79.4%）で、全国より 3.5 ポイント下回っている。

中学生の割合は 65.3%（全国 78.2%）で、全国より 12.9 ポイント下回っている。

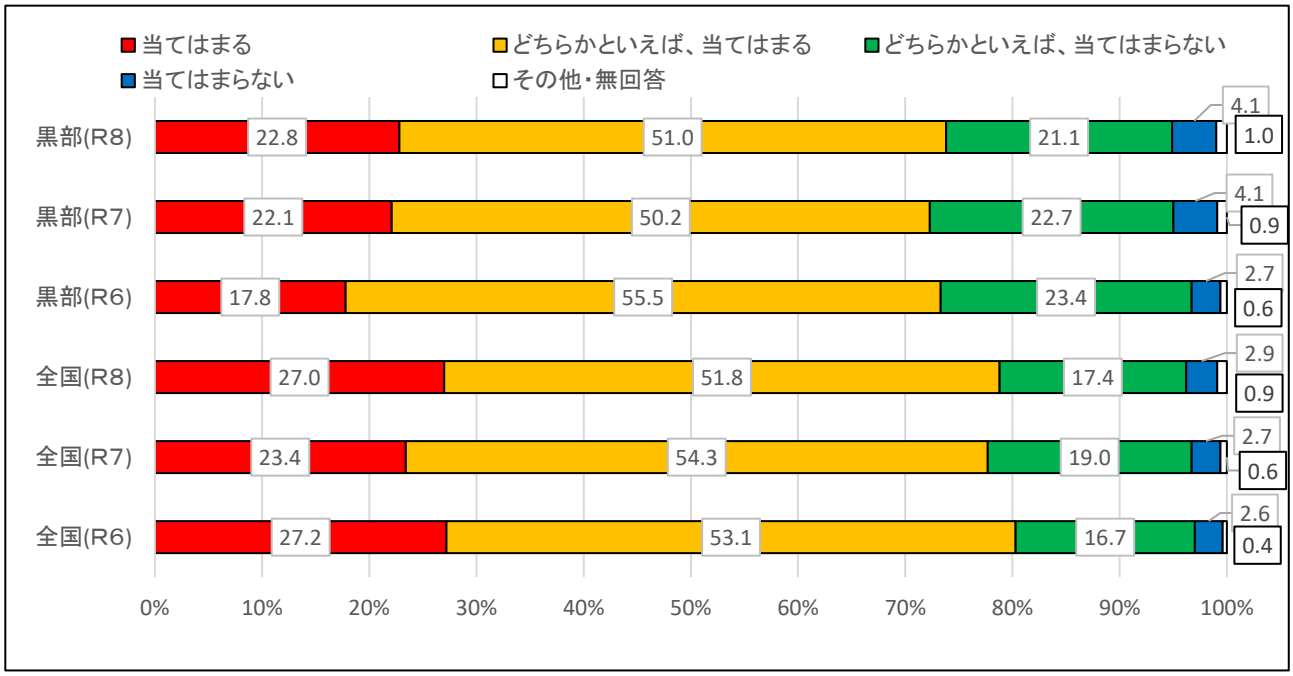
エ　授業での課題解決学習について

質問「５年生までに（１、２年生のとき）受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」

【小学校】



【中学校】



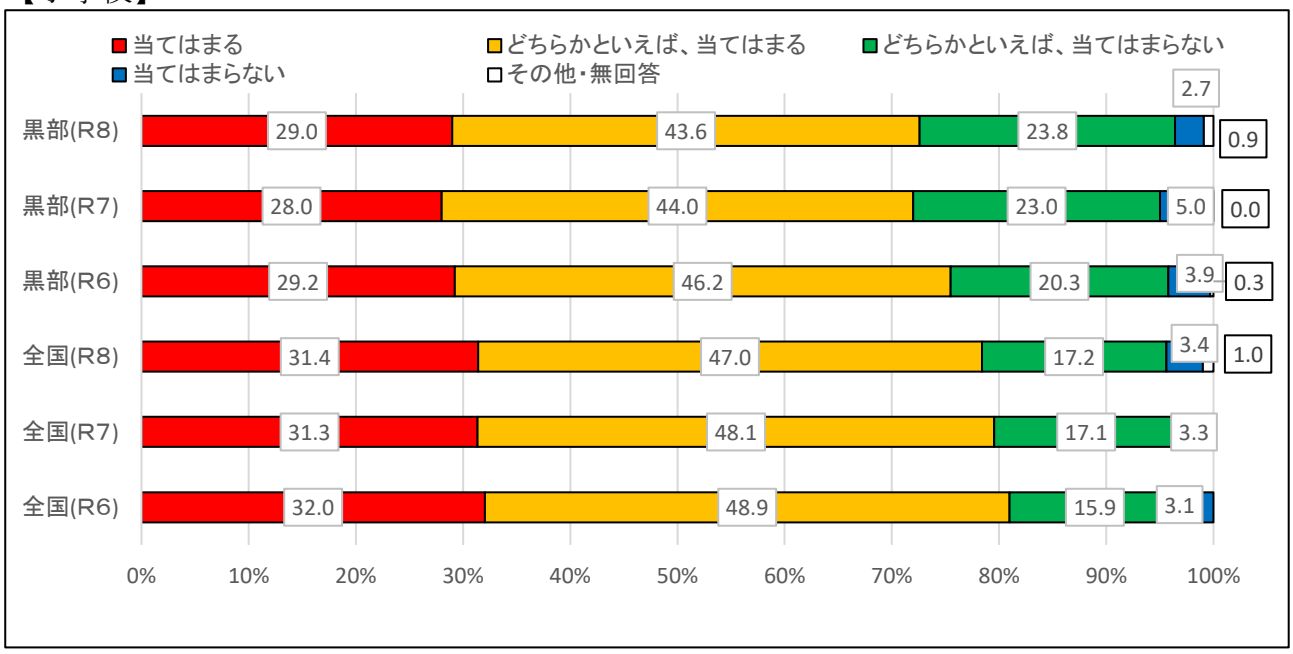
肯定的な回答をした小学生の割合は 72.0％（全国 77.6％）で、全国より 5.6 ポイント下回っている。

中学生の割合は 73.8％（全国 78.8％）で、全国より 5.0 ポイント下回っている。

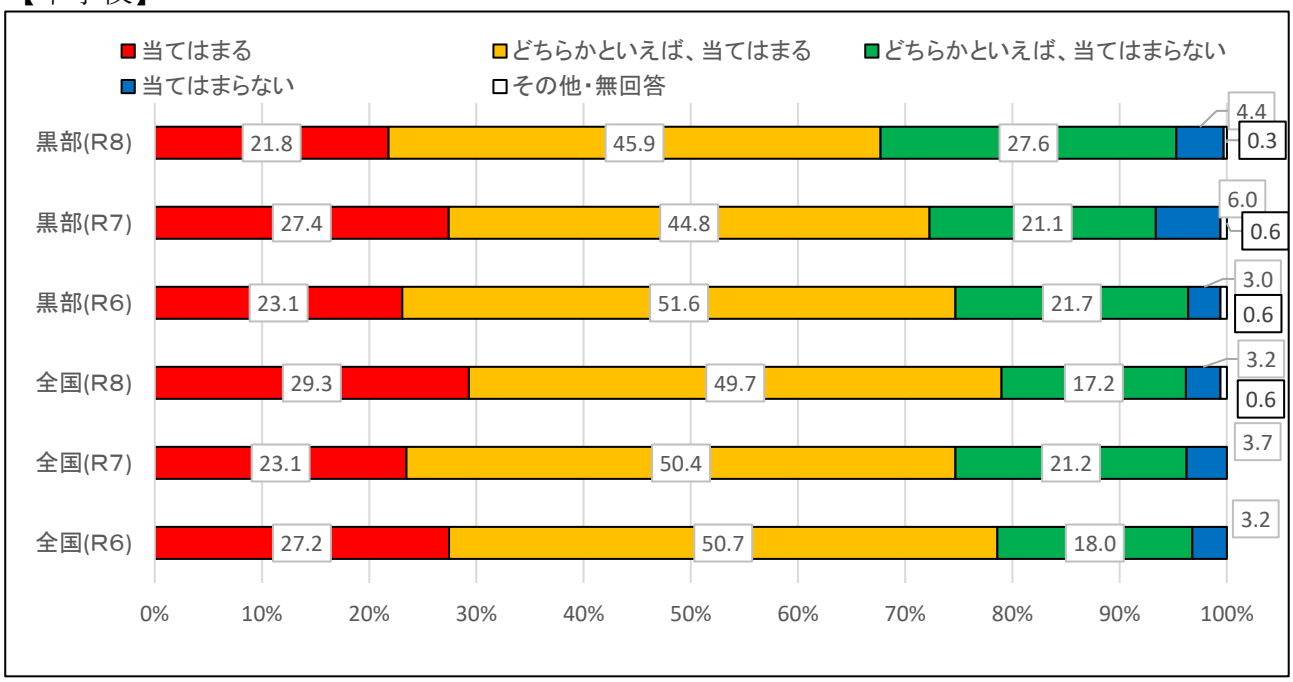
オ　学習の振り返りについて

質問「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」

【小学校】



【中学校】



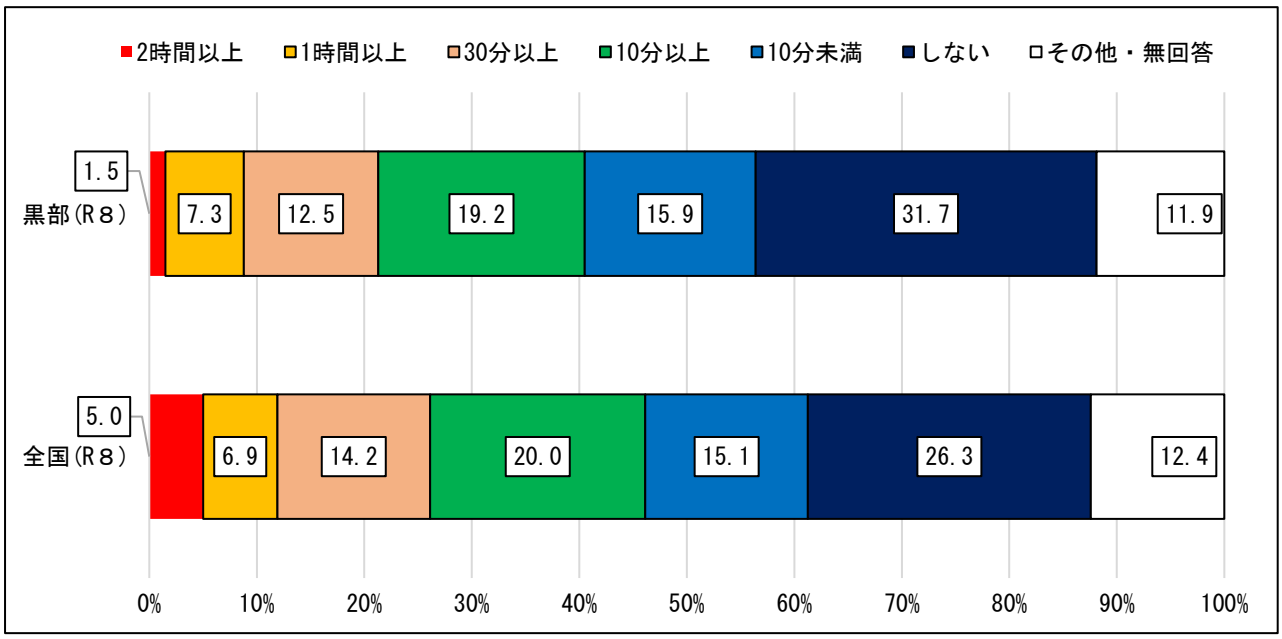
肯定的な回答をした小学生の割合は 72.6%（全国 78.4%）で、全国より 5.8 ポイント下回っている。

中学生の割合は 67.7%（全国 79.0%）で、全国より 11.3 ポイント下回っている。

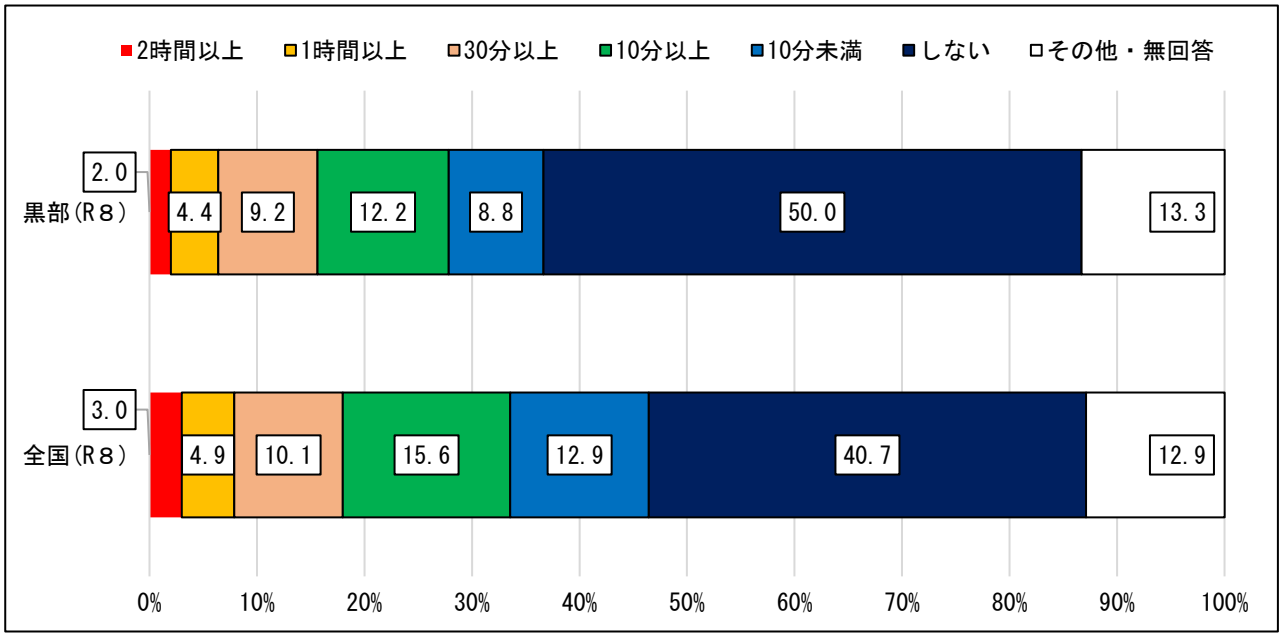
カ　読書について

質問「学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」
※R8 新設

【小学校】



【中学校】

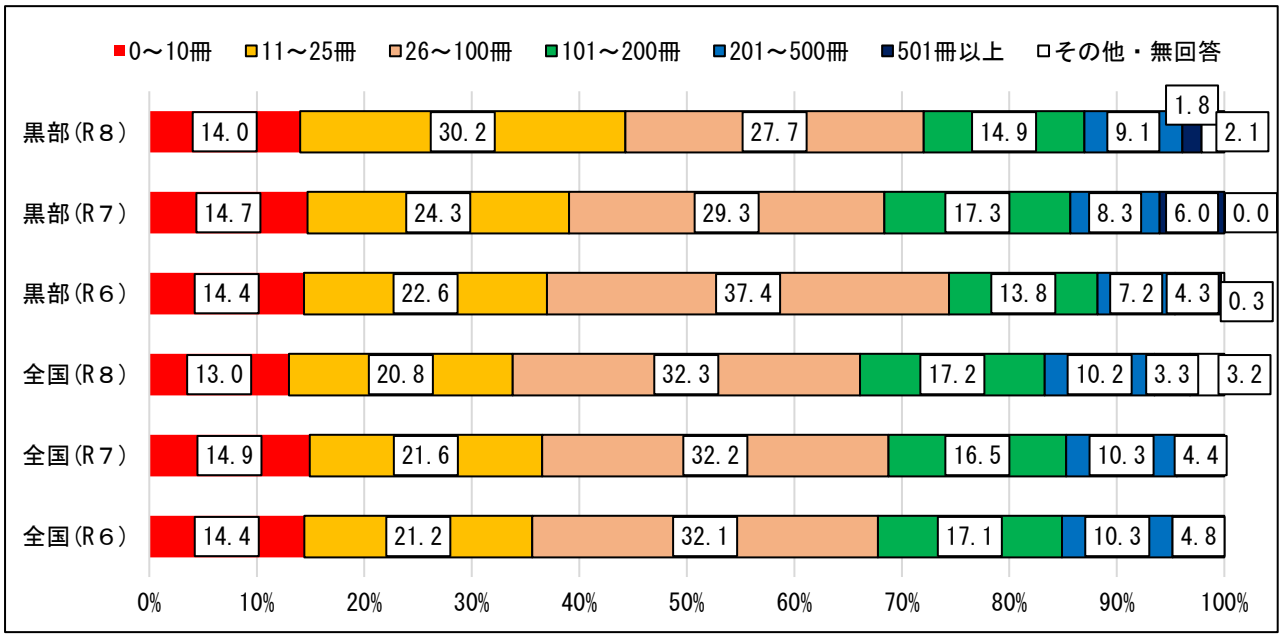


読書している（10 分未満であっても）小学生の割合は 56.4%（全国 61.2%）で、全国より 4.8 ポイント下回っている。
中学生の割合は 36.6%（全国 46.5%）で、全国より 9.9 ポイント下回っている。

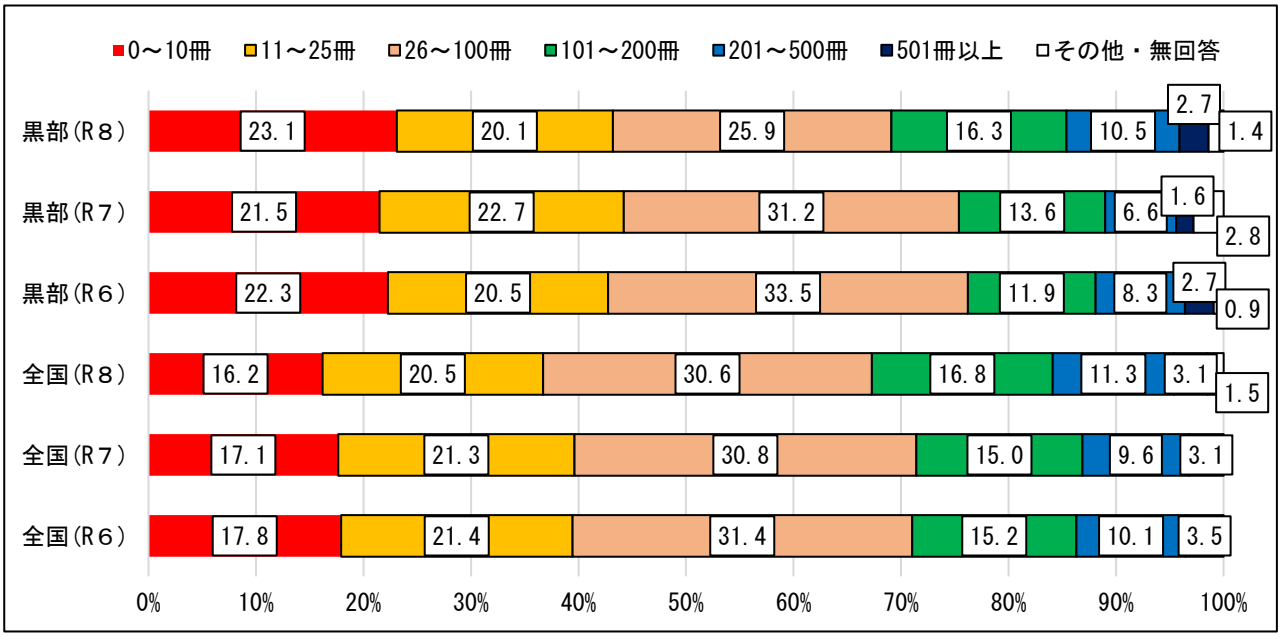
キ　読書環境について

質問「あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌（一般の雑誌）、新聞、教科書は除く）」

【小学校】



【中学校】



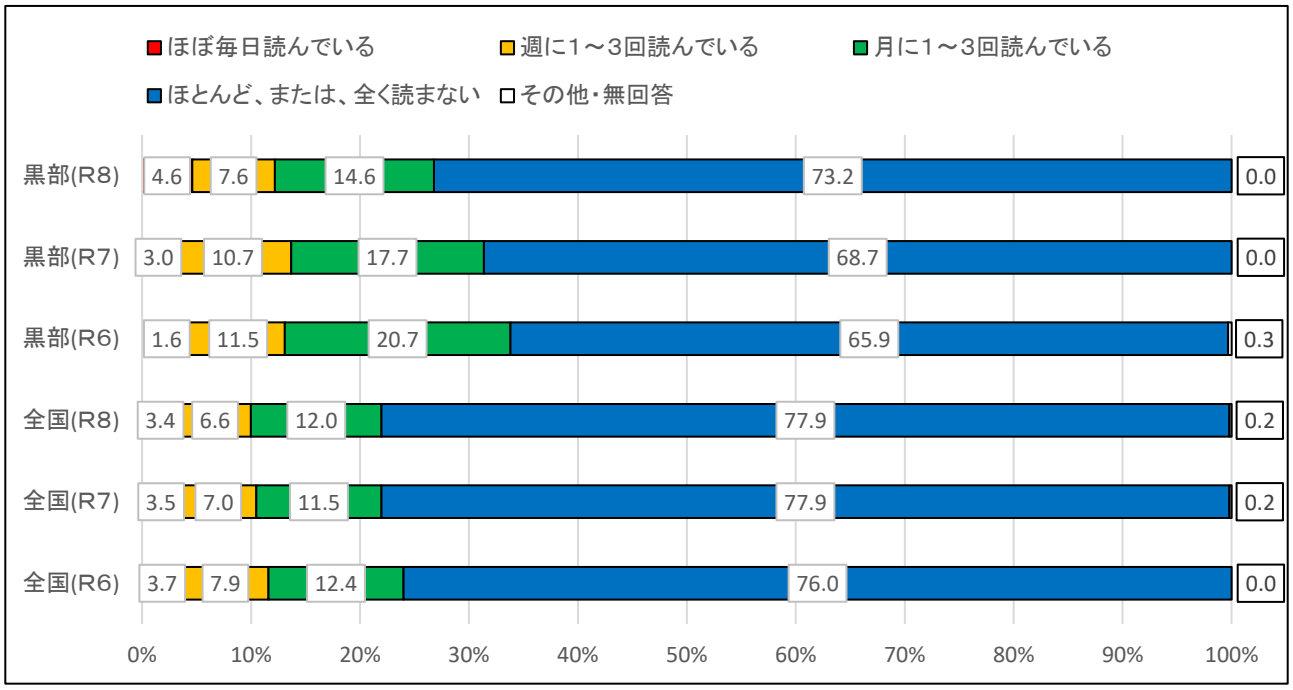
26冊以上の本がある小学生の割合は53.5%（全国63.0%）で、全国より9.5ポイント下回っている。

中学生の割合は55.4%（全国61.8%）で、全国より6.4ポイント下回っている。

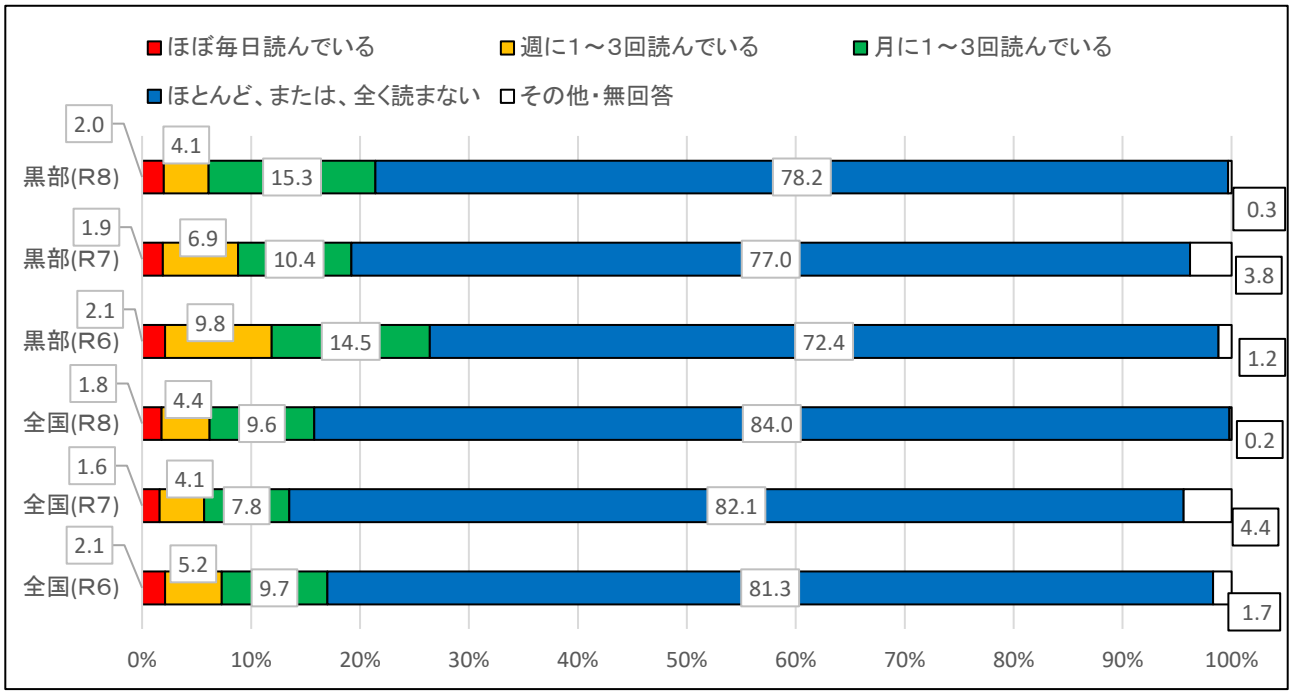
ク　新聞について

質問「新聞をどのくらい読んでいますか」

【小学校】



【中学校】



肯定的な回答（ほぼ毎日・週に１～３回）をした小学生の割合は 12.2%（全国 10.0%）で、全国より 2.2 ポイント上回っている。

中学生の割合は 6.1%（全国 6.2%）で、全国より 0.1 ポイント下回っている。

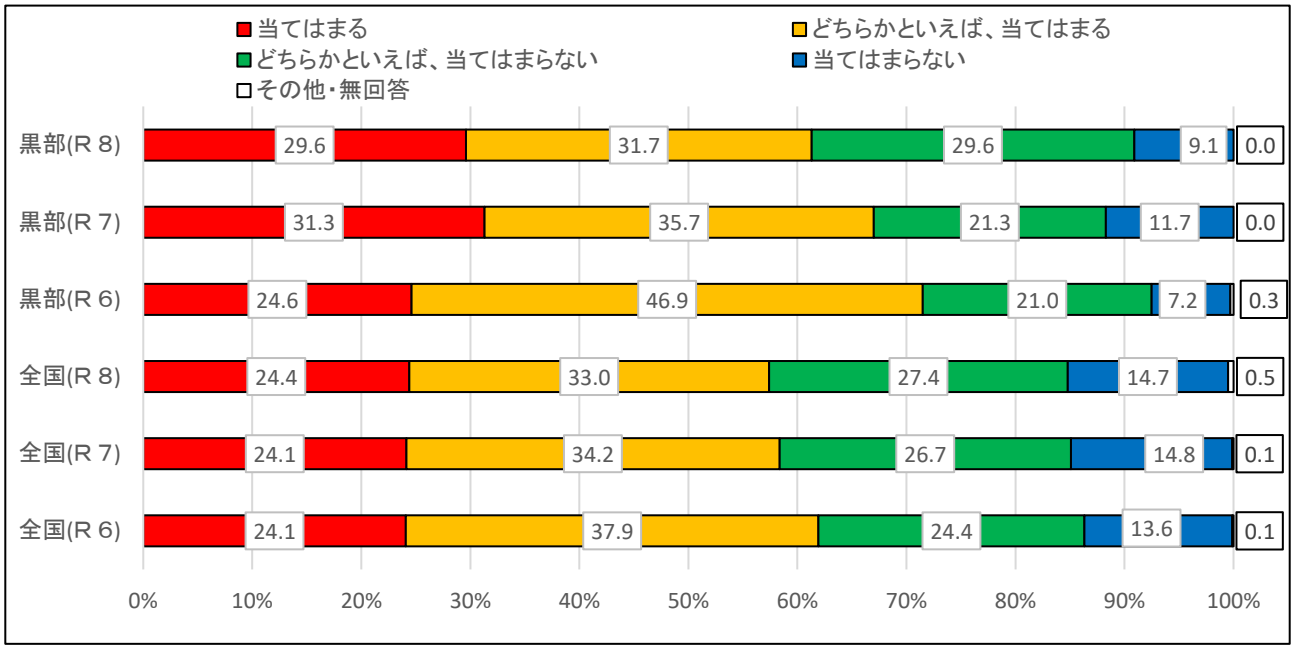
（２）国語、算数・数学、英語

①児童生徒の興味・関心

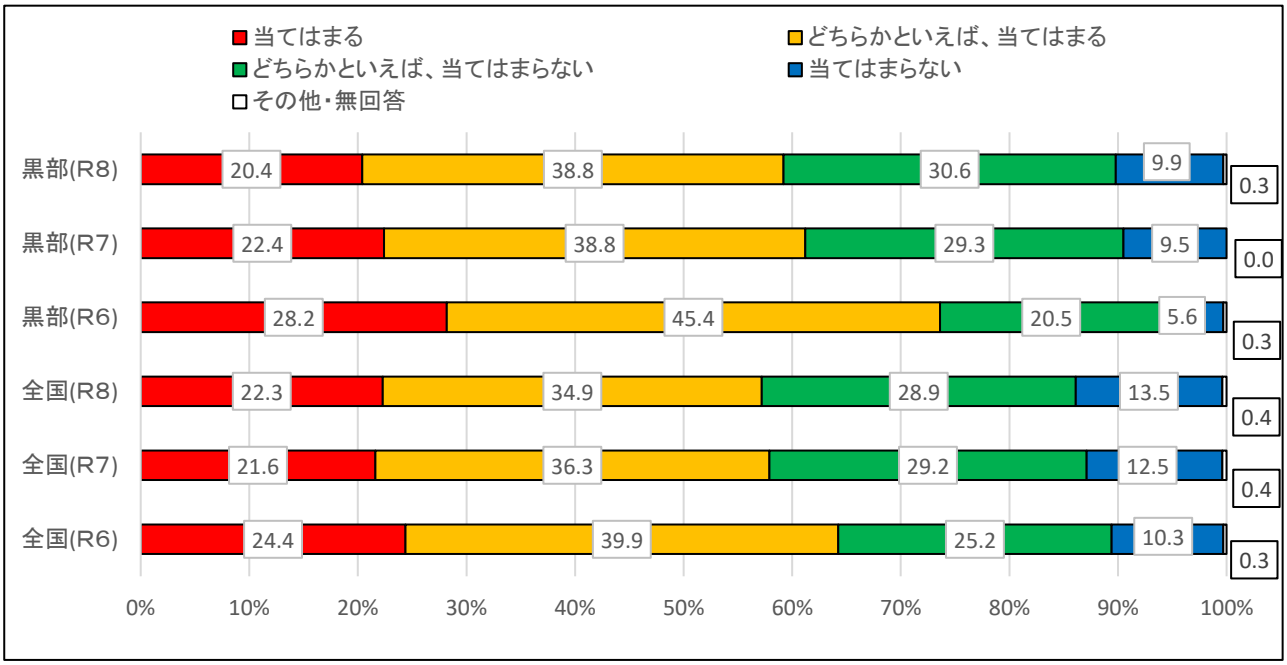
ア　国語

質問「国語の勉強は好きですか」

【小学校】



【中学校】

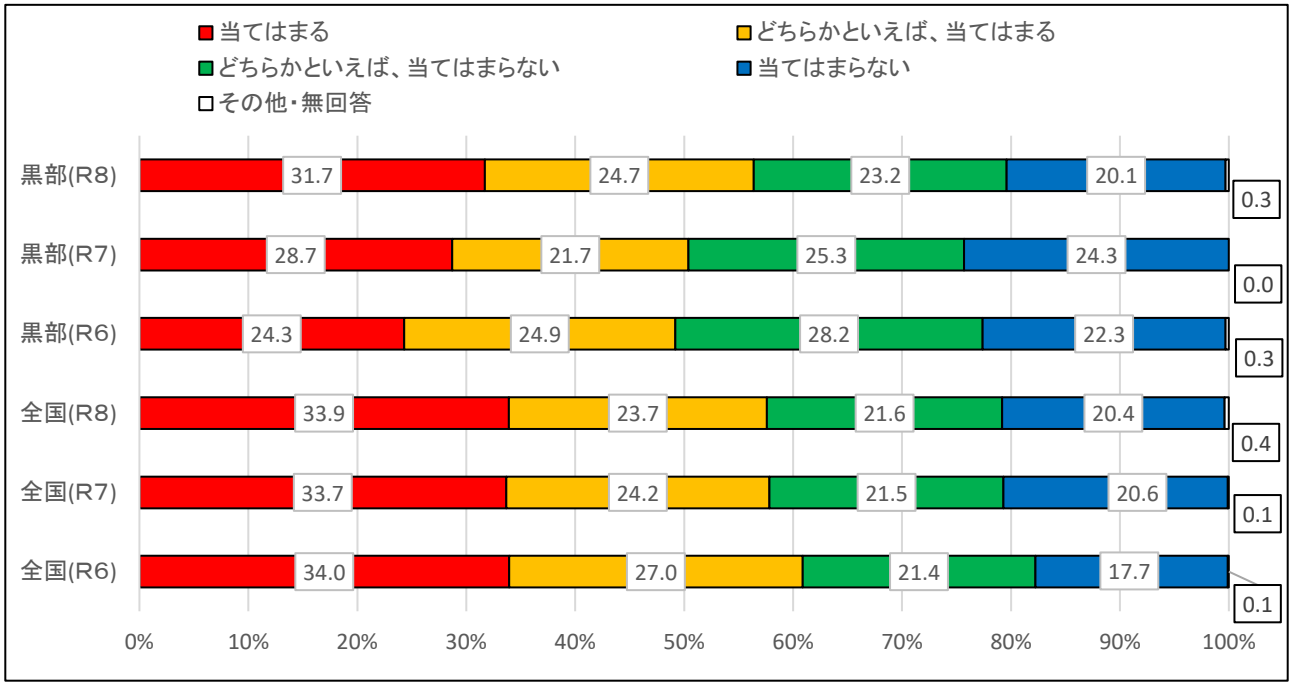


肯定的な回答をした小学生の割合は 61.3%（全国 57.4%）で、全国より 3.9 ポイント上回っている。
中学生の割合は 59.2%（全国 57.2%）で、全国より 2.0 ポイント上回っている。

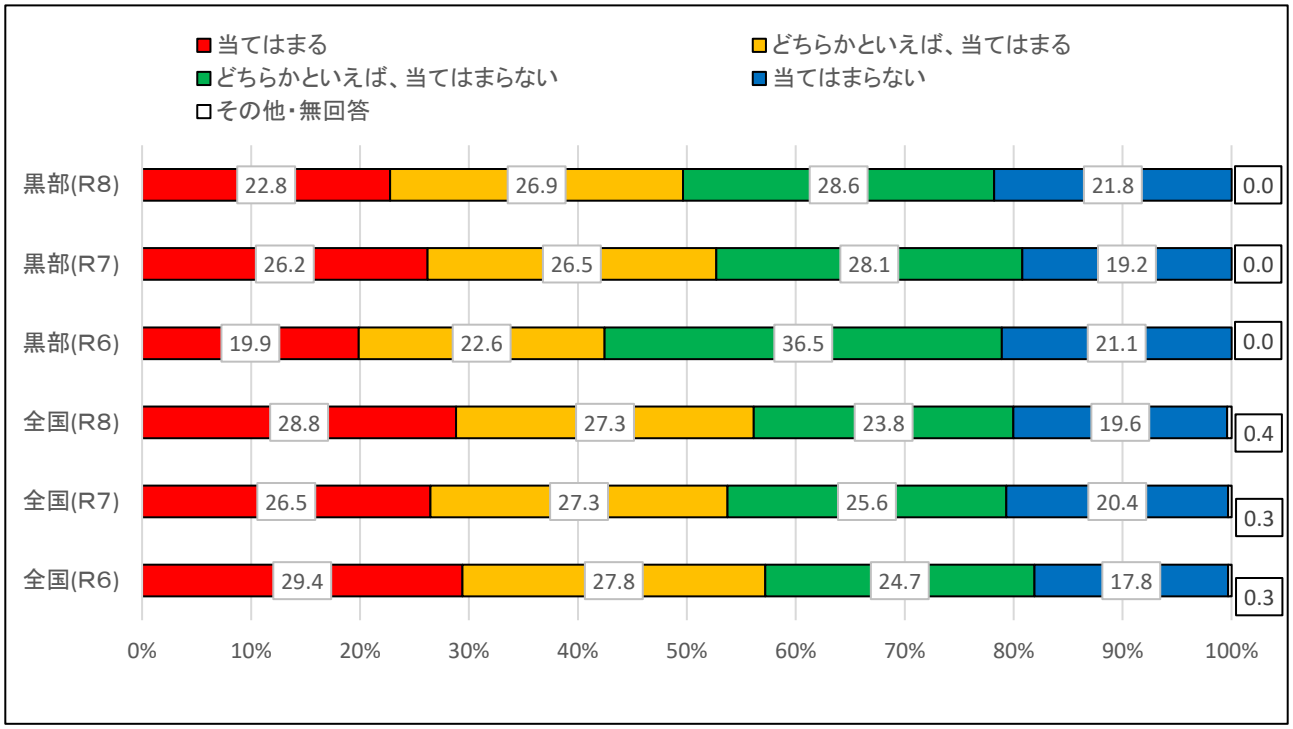
イ　算数・数学

質問「算数（数学）の勉強は好きですか」

【小学校】



【中学校】



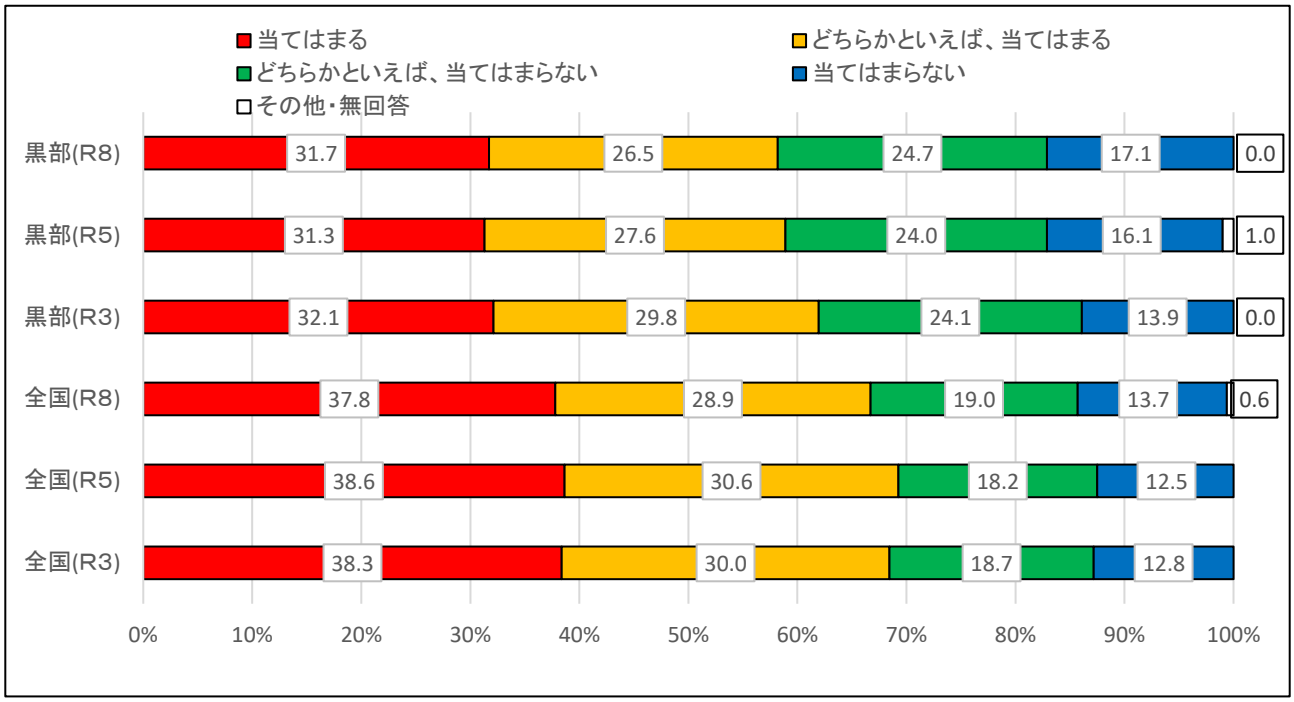
肯定的な回答をした小学生の割合は 56.4%（全国 57.6%）で、全国より 1.2 ポイント下回っている。

中学生の割合は 49.7%（全国 56.1%）で、全国より 6.4 ポイント下回っている。

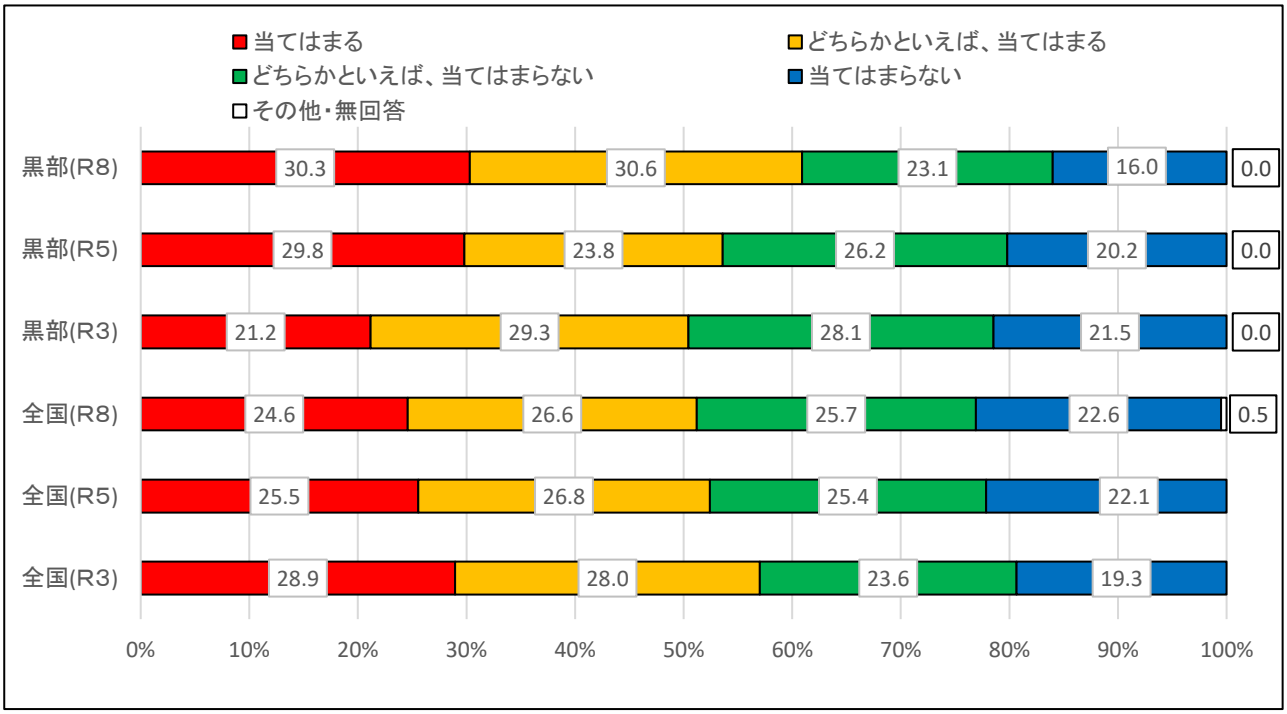
ウ　英語

質問「英語の勉強は好きですか」※R３・５あり

【小学校】



【中学校】



肯定的な回答をした小学生の割合は 58.2%（全国 66.7%）で、全国より 8.5 ポイント下回っている。

中学生の割合は 60.9%（全国 51.2%）で、全国より 9.7 ポイント上回っている。

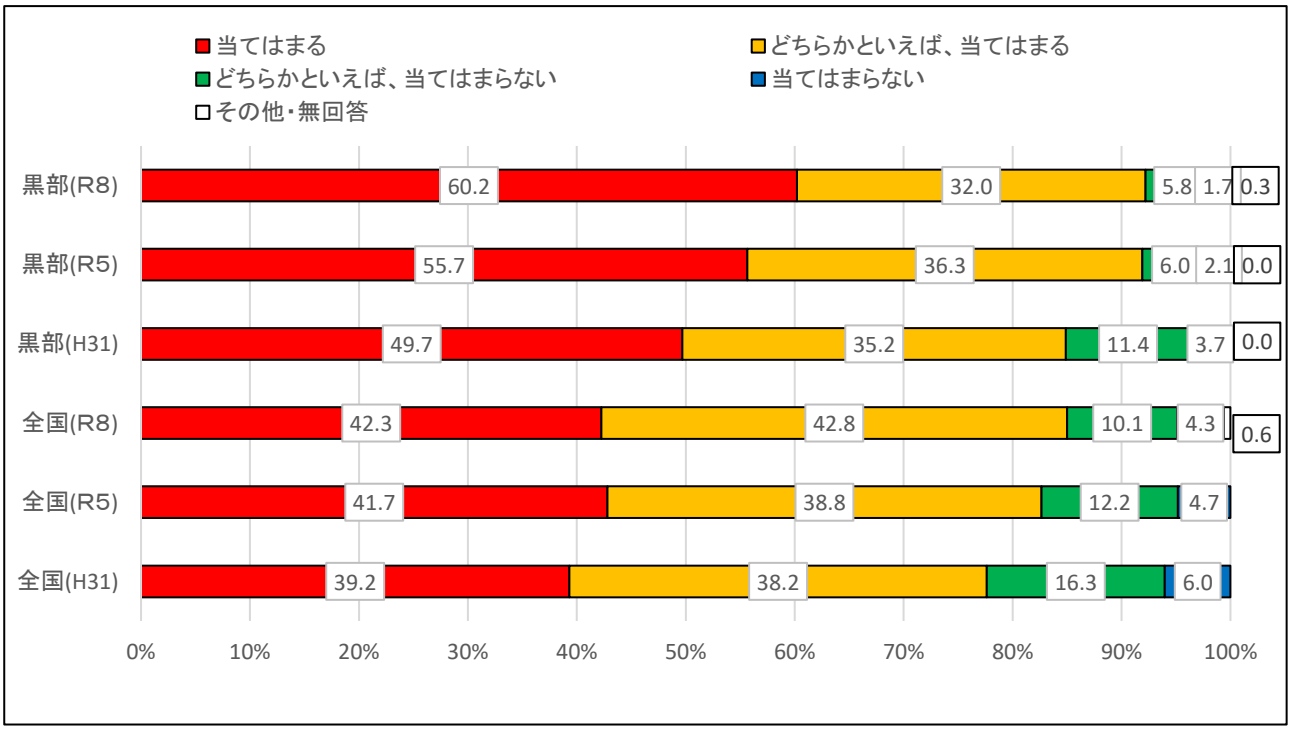
②授業での活動（英語）

質問「１、２年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていましたか」※H31・R5あり

【小学校】

質問なし

【中学校】



肯定的な回答をした中学生の割合は 92.2%（全国 85.1%）で、全国より 7.1 ポイント上回っている。

６　学校質問調査結果

（１）家庭学習への取組【肯定的な回答の割合】

質問「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか」

	黒部市	全　国	全国との差
小学校（Ｒ８）	100%	96.6%	＋3.4
〃　（Ｒ７）	100%	96.6%	＋3.4
〃　（Ｒ６）	100%	96.1%	＋3.9
中学校（Ｒ８）	50.0%	91.2%	－41.2
〃　（Ｒ７）	100%	92.8%	＋7.2
〃　（Ｒ６）	100%	91.9%	＋8.1

（２）授業改善への取組【肯定的な回答の割合】

質問「調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか」

	黒部市	全　国	全国との差
小学校（Ｒ８）	100%	88.1%	＋11.9
〃　（Ｒ７）	77.7%	89.3%	－11.6
〃　（Ｒ６）	77.8%	88.2%	－10.4
中学校（Ｒ８）	100%	87.2%	＋12.8
〃　（Ｒ７）	100%	88.2%	＋11.8
〃　（Ｒ６）	50.0%	88.4%	－38.4

（３）ＩＣＴを活用した学習状況について【「ほぼ毎日」と回答した割合】

質問「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒一人一人に配備されたＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を、授業でどの程度活用しましたか」

	黒部市	全　国	全国との差
小学校（Ｒ８）	100%	82.8%	＋17.2
〃　（Ｒ７）	66.6%	84.8%	－18.2
〃　（Ｒ６）	77.7%	93.2%	－15.5
中学校（Ｒ８）	50.0%	82.3%	－32.3
〃　（Ｒ７）	100%	82.8%	＋17.2
〃　（Ｒ６）	100%	90.8%	＋9.2

（4）児童生徒の規範意識【肯定的な回答の割合】

質問「調査対象学年の児童生徒は、授業中の私語が少なく，落ち着いていると思いますか」

	黒部市	全　国	全国との差
小学校（R８）	77.7%	83.9%	−6.2
〃　（R７）	77.7%	85.9%	−8.2
〃　（R６）	88.8%	85.5%	+3.3
中学校（R８）	100%	90.7%	+9.3
〃　（R７）	100%	92.0%	+8.0
〃　（R６）	100%	93.8%	+6.2

（5）地域・家庭との連携【肯定的な回答の割合】

質問「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まりましたか」

	黒部市	全　国	全国との差
小学校（R８）	100%	89.1%	+10.9
〃　（R７）	100%	93.3%	+6.7
〃　（R６）	55.6%	88.9%	−33.3
中学校（R８）	50.0%	84.4%	−34.4
〃　（R７）	100%	89.0%	+11.0
〃　（R６）	50.0%	84.1%	−34.1

（6）働き方改革【肯定的な回答の割合】

質問「ＩＣＴを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか」

	黒部市	全　国	全国との差
小学校（R８）	100%	99.6%	+0.4
〃　（R７）	100%	99.0%	+1.0
〃　（R６）	100%	99.1%	+0.9
中学校（R８）	100%	99.3%	+0.7
〃　（R７）	100%	98.3%	+1.7
〃　（R６）	100%	98.5%	+1.5

別紙

ＣＢＴ（= Computer Based Testing）

ＩＣＴ端末等を用いたオンライン方式の調査のこと。冊子を用いた筆記方式のことは「ＰＢＴ」（= Paper Based Testing）という。今年度、中学校英語と児童生徒質問調査がＣＢＴで実施。令和９年度以降は、小学校・中学校ともに全面移行の予定。

【全国学力・学習状況調査がＣＢＴになった背景】

- ＧＩＧＡスクール構想によるＩＣＴ環境の整備（多様な方法・環境での出題・解答が可能）
- 個別最適な学習支援を可能にするデータ活用、ビッグデータとして蓄積可能
- 冊子での実施に係る学校の負担と経費の軽減
- ＰＩＳＡ調査等国際的な学力調査のＣＢＴ化

ランダム方式

生徒ごとに異なる質問がランダムに出題される方式。

ＩＲＴスコア（= Item Response Theory）

日本語で「項目反応理論」というテスト理論のこと。単純な正答数ではなく、問題の難易度や特徴を考慮して能力を測る方法。年度間の比較をする、違う問題を受験した児童生徒の点数を比べる、といったことを高い信頼性をもって測定することができる。ＩＲＴスコアは 500 を平均値として表す。